

令和3年度

決算説明資料

水道局

目 次

ページ

令和3年度水道局関係決算総括

1	水道事業会計	1	
2	一般会計	5	
3	工業用水道事業会計	7	
4	主要事業の概要	9	
I 水道事業会計			
1	予算の執行状況	15	
2	繰越事業の進捗状況	31	
3	給水状況等	34	
4	配水管整備事業	39	
5	漏水防止事業	39	
6	補助金の支出状況	40	
7	水道事業の財政状況	41	
II 一般会計			
1	予算の執行状況	45	
III 工業用水道事業会計			
1	予算の執行状況	47	
2	繰越事業の進捗状況	53	
3	給水状況等	55	
4	工業用水道事業の財政状況	57	
IV 利益の処分（議案）			61
V 財務諸表			
1	水道事業会計の財務諸表	63	
2	工業用水道事業会計の財務諸表	69	
VI 参 考			
1	未収金の整理状況	73	
2	経営指標等の推移（平成29～令和3年度）	75	

令和3年度水道局関係決算総括

1 水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	合 計
	円	円	円
第1款 水道事業収益	38,777,611,000	—	38,777,611,000
第1項 営業収益	34,031,278,000	—	34,031,278,000
第2項 営業外収益	4,730,333,000	—	4,730,333,000
第3項 特別利益	16,000,000	—	16,000,000

支 出

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額
	円	円	円	円
第1款 水道事業費用	33,111,090,000	△ 120,291,000	—	—
第1項 営業費用	30,625,915,000	△ 86,852,000	—	△ 7,081,000
第2項 営業外費用	2,408,392,000	△ 33,439,000	—	7,081,000
第3項 特別損失	26,783,000	—	—	—
第4項 予備費	50,000,000	—	—	—

(△印減)

決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
円	円	
38,665,527,488	△ 112,083,512	
34,098,691,979	67,413,979	(うち、仮受消費税及び地方消費税 3,086,005,078円)
4,549,483,445	△ 180,849,555	(うち、仮受消費税及び地方消費税 182,898,443円)
17,352,064	1,352,064	(うち、仮受消費税及び地方消費税 1,475,333円)

額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	備 考
合 計				
円	円	円	円	
32,990,799,000	32,012,539,649	14,807,000	963,452,351	
30,531,982,000	29,611,590,512	14,807,000	905,584,488	(うち、仮払消費税及び地方消費税 1,313,759,352円)
2,382,034,000	2,381,673,493	—	360,507	(うち、仮払消費税及び地方消費税 936,783円)
26,783,000	19,275,644	—	7,507,356	(うち、仮払消費税及び地方消費税 1,691,301円)
50,000,000	—	—	50,000,000	

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	前年度からの繰越額 に係る財源充当額
	円	円	円	円
第1款 資本的収入	12,845,578,000	—	12,845,578,000	603,315,000
第1項 企業債	8,800,000,000	—	8,800,000,000	500,000,000
第2項 補助金	1,348,884,000	—	1,348,884,000	89,000,000
第3項 出資金	1,225,732,000	—	1,225,732,000	—
第4項 負担金	259,738,000	—	259,738,000	—
第5項 加入金	895,070,000	—	895,070,000	—
第6項 預託金返還金	6,000,000	—	6,000,000	—
第7項 その他の資本的収入	310,154,000	—	310,154,000	14,315,000

支 出

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	小 計
	円	円	円	円
第1款 資本的支出	28,678,883,000	54,199,000	—	28,733,082,000
第1項 建設改良費	19,071,260,000	54,199,000	—	19,125,459,000
第2項 償還金	8,936,310,000	—	—	8,936,310,000
第3項 出資金	614,004,000	—	—	614,004,000
第4項 預託金	6,000,000	—	—	6,000,000
第5項 国庫補助金返還金	41,309,000	—	—	41,309,000
第6項 予備費	10,000,000	—	—	10,000,000

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 16,130,992,147円は、
消費税及び地方消費税資本的収支調整額 1,236,781,617円、減債積立金 723,712,018円、
損益勘定留保資金11,995,527,512円 及び当年度利益剰余金処分数額2,174,971,000円で補てんした。

(△印減)

額		決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計				
	円	円	円	
13,448,893,000		11,916,086,248	△ 1,532,806,752	翌年度繰越額 1,543,923,000円 <small>（翌年度繰越額を除いた 決算額の増減 11,116,248円）</small>
9,300,000,000		7,797,000,000	△ 1,503,000,000	翌年度繰越額 1,500,000,000円
1,437,884,000		1,729,980,000	292,096,000	
1,225,732,000		1,177,368,015	△ 48,363,985	
259,738,000		233,706,359	△ 26,031,641	（うち、仮受消費税及び地方消費税 12,353,364円）
895,070,000		874,896,000	△ 20,174,000	（うち、仮受消費税及び地方消費税 79,536,000円）
6,000,000		—	△ 6,000,000	
324,469,000		103,135,874	△ 221,333,126	翌年度繰越額 43,923,000円

額		決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	備 考
前年度からの繰越額	合 計				
	円	円	円	円	
3,910,088,000	32,643,170,000	28,047,078,395	4,344,830,000	251,261,605	
3,910,088,000	23,035,547,000	18,459,748,611	4,344,830,000	230,968,389	（うち、仮払消費税及び地方消費税 1,481,370,059円）
—	8,936,310,000	8,936,309,987	—	13	
—	614,004,000	609,711,000	—	4,293,000	
—	6,000,000	—	—	6,000,000	
—	41,309,000	41,308,797	—	203	
—	10,000,000	—	—	10,000,000	

2 一般会計

歳入

款	項	目	当初予算額	補正予算額	計 A
21. 財産収入	1. 財産運用収入	2. 利子及び配当金	千円 677	千円 —	千円 677
23. 繰入金	10. 水道水源かん養事業基金繰入金	1. 水道水源かん養事業基金繰入金	14,650	—	14,650
26. 市債	1. 市債	4. 環境債	793,000	—	793,000
合 計			808,327	—	808,327

歳出

款	項	目	当初予算額	補正予算額	計 A
5. 環境費	2. 上水道費	1. 上水道費	千円 1,381,239	千円 —	千円 1,381,239
合 計			1,381,239	—	1,381,239

(△印減)

決算額 B	対予算比率 $B/A \times 100$	翌年度繰越額 C	増減 $B - (A - C)$	備 考
千円 678	% 100.1	千円 -	千円 1	
11,377	77.7	-	△ 3,273	
743,000	93.7	-	△ 50,000	
755,055	93.4	-	△ 53,272	

決算額 B	対予算比率 $B/A \times 100$	翌年度繰越額 C	不用額 $A - (B + C)$	備 考
千円 1,320,217	% 95.6	千円 -	千円 61,022	
1,320,217	95.6	-	61,022	

3 工業用水道事業会計

(1) 収益的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額		
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	合 計
第1款 工業用水道事業収益	円 247,190,000	円 —	円 247,190,000
第1項 営業収益	231,795,000	—	231,795,000
第2項 営業外収益	15,395,000	—	15,395,000

支 出

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	流 用 増 減 額
第1款 工業用水道事業費用	円 197,531,000	円 —	円 —	円 —
第1項 営業費用	187,903,000	—	—	—
第2項 営業外費用	8,628,000	—	—	—
第3項 予備費	1,000,000	—	—	—

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	小 計	前年度からの繰越額に係る財源充当額
第1款 資本的収入	円 247,800,000	円 —	円 247,800,000	円 409,320,000
第1項 企業債金	217,000,000	—	217,000,000	369,000,000
第2項 補助金	30,800,000	—	30,800,000	40,320,000

支 出

区 分	予 算			
	当 初 予 算 額	補 正 予 算 額	予 備 費 支 出 額	小 計
第1款 資本的支出	円 301,110,000	円 —	円 —	円 301,110,000
第1項 建設改良費	256,201,000	—	—	256,201,000
第2項 償還金	43,909,000	—	—	43,909,000
第3項 予備費	1,000,000	—	—	1,000,000

(注)資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 56,463,545円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 26,190,633円及び損益勘定留保資金 30,272,912円で補てんした。

(△印減)

決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
円 249,343,340 227,055,858 22,287,482	円 2,153,340 △ 4,739,142 6,892,482	(うち、仮受消費税及び地方消費税 20,639,238円)

額	決 算 額	不 用 額	備 考
合 計			
円 197,531,000 187,903,000 8,628,000 1,000,000	円 179,022,600 172,453,078 6,569,522 -	円 18,508,400 15,449,922 2,058,478 1,000,000	(うち、仮払消費税及び地方消費税 8,912,378円) (うち、仮払消費税及び地方消費税 95,024円)

(△印減)

額	決 算 額	予 算 額 に 比 べ 決 算 額 の 増 減	備 考
合 計			
円 657,120,000 586,000,000 71,120,000	円 318,320,000 278,000,000 40,320,000	円 △ 338,800,000 △ 308,000,000 △ 30,800,000	翌年度繰越額 209,000,000円 翌年度繰越額 209,000,000円 (翌年度繰越額を 除いた決算額の増減 △ 129,800,000)

額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額	備 考	
前年度からの繰越額	合 計				
円 410,091,000 410,091,000 - -	円 711,201,000 666,292,000 43,909,000 1,000,000	円 374,783,545 330,874,930 43,908,615 -	円 228,390,000 228,390,000 - -	円 108,027,455 107,027,070 385 1,000,000	(うち、仮払消費税及び地方消費税 29,856,088円)

4 主要事業の概要

(1) 水の安定供給と節水型都市づくりの推進 18,810,346千円

ア 水道施設の維持・更新 17,786,095千円

安定給水を図るため、水道施設の効果的な維持補修等により、施設の長寿命化を図りながら、計画的に水道施設の維持・更新を行った。配水管の整備については、埋設環境に応じた実質的な耐用年数に対応できるよう、計画的に更新するとともに、水源・浄水場の整備については、南畑系導水管や瑞梅寺浄水場設備の更新等を実施した。

また、浄水場の再編については、乙金浄水場の増強や高宮系送水管の整備等を実施した。

イ 水の有効利用 1,024,251千円

限りある水資源を有効に利用するため、配水管の流量や水圧を集中コントロールしている配水調整システムに係る遠方監視制御装置を計画的に更新するなど、効率的な水運用を行った。

また、公道部に埋設された配水管と給水管について、「第18次漏水防止調査計画」に基づき、計画的な漏水調査を行い、漏水の早期発見に努めるとともに、老朽化した給水管を取り替えるなど、効果的な漏水防止対策に取り組んだ。

さらに、異常漏水の経験を風化させることなく、「限りある資源である水をたいせつに使う」心がけが市民（社会）全体に継承されるよう、効果的な広報を継続的に実施した。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	事業内容
ア 水道施設の維持・更新	22,128,828	17,786,095	4,163,836	178,897	
配水管の整備	13,632,426	10,770,393	2,840,912	21,121	配水管の新設 3.6km 配水管の更新等 42.8km
水源・浄水場の整備	1,954,197	1,132,451	762,305	59,441	南畑系導水管の更新 瑞梅寺浄水場次亜塩素酸ナトリウム注入設備の更新 等
浄水場の再編	6,542,205	5,883,251	560,619	98,335	乙金浄水場の増強整備 高宮系送水管の整備 等
イ 水の有効利用	1,037,871	1,024,251	—	13,620	
配水調整システムの整備	216,003	215,327	—	676	遠方監視制御装置更新 15箇所
漏水防止調査	215,145	203,572	—	11,573	基幹管路を含む漏水調査 調査延長 2,967km
給水管の漏水対策	598,019	598,018	—	1	漏水発生給水管応急修理 1,248件 漏水防止給水管取替 1,334件
「水をたいせつに」 広報の推進	8,704	7,334	—	1,370	水をたいせつにキャンペーン 「水とわたしたち」(小学生社会科副読本)の発行 等
合計	23,166,699	18,810,346	4,163,836	192,517	

(2) 安全で良質な水道水の供給

95,788 千円

ア 水源かん養機能の向上と水源地域・流域との連携・協力

23,715 千円

より安全で良質な水道原水を安定的に確保するため、市内の水源かん養林について、間伐や伐竹等の整備や点検を計画的に実施するとともに、市外の福岡市関連ダムの水源かん養林の整備を支援した。

また、水源地域・流域との連携・相互理解を図るため、水源地域の育林のための植樹作業に参加するとともに、水源地域・流域への理解と関心を深め、水の大切さを学ぶ機会を創出するため、交流事業等に関する動画を作成し、ホームページ上で公開するなど、広報の充実を図った。

イ 水質管理の充実

70,398 千円

安全でおいしい水道水をじゃ口までお届けするため、水質検査機器の計画的な更新や水道水質検査優良試験所規範（水道GLP）に基づく精度の高い水質検査を行うなど、検査体制の充実を図った。

また、国の水質基準等よりも厳しく設定した独自の水質目標を掲げ、市内要所の配水管に設置した連続水質監視装置で水質を常時監視し、水道水の残留塩素濃度をきめ細かに調整するなど、水質管理の徹底に努めた。

ウ 給水栓における水質保持

1,675 千円

お客さまに水道水を安心してご利用いただくため、水道法で清掃や検査の義務が規定されていない小規模貯水槽（有効容量 10m³以下）の設置者に対して、管理に関する啓発資料を送付するとともに、清掃や点検の実施状況等の確認、及び未改善施設に係る改善状況の確認、指導を行った。

また、「直結給水相談窓口」での情報提供や技術的なアドバイス、広報活動等を継続して実施するとともに、関係団体の協力を得ながら直結式給水の普及を促進した。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	不用額 A - B	事業内容
ア 水源かん養機能の向上と水源地域・流域との連携・協力	28,364	23,715	4,649	
水源かん養林の整備	26,259	23,256	3,003	市内水源かん養林整備 70.6ha ダム集水区域での森林整備事業支援
水源地域・流域との交流	2,105	459	1,646	水源地域における植樹作業への参加等で協力 水源地域・流域との交流等の動画の作成 等
イ 水質管理の充実	77,182	70,398	6,784	水質検査機器の更新 水質検査計画の策定 等
ウ 給水栓における水質保持	1,689	1,675	14	小規模貯水槽の適正管理の啓発 啓発資料送付 4,500 件 未改善施設の状況確認・指導 1,160 件 等 直結式給水の普及促進 直結給水相談 99 件 等
合計	107,235	95,788	11,447	

(3) 危機管理対策の推進

1,231,513千円

ア 地震等災害対策の推進

1,171,228千円

災害発生時においてもライフラインとしての機能が維持できるよう、管の更新時には全て、地震の揺れに強い耐震管を使用するとともに、避難所や病院等への給水ルートを優先的に耐震化する耐震ネットワーク工事を、計画的に進めた。

また、近年の豪雨災害等の頻発化、激甚化を踏まえ、浸水リスクへの備えとして、災害対策の拠点である水道局本庁舎の浸水対策など、水道施設の耐水化の検討に取り組んだ。

イ 事故・テロ等対策の推進

49,792千円

水道施設のセキュリティを確保するため、機械警備やカメラによる監視を継続するとともに、水道原水への油混入等による水質事故を未然に防止するため、取水場や浄水場等に設置した水質計器により、24時間体制で水質監視を行った。

ウ 危機管理体制等の充実

10,493千円

大規模な災害や事故の発生により、水道施設に多大な被害が生じた場合でも、市民生活等への影響を最小限にとどめるため、各種危機管理マニュアルを踏まえた実践的な研修・訓練等を実施するとともに、広域的な連携を強化するなど、災害時応急体制の充実に取り組んだ。

また、応急給水活動に重要な役割を果たす給水基地の注水設備の更新を行った。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	事業内容
ア 地震等災害対策の推進	1,231,129	1,171,228	50,534	9,367	
耐震ネットワーク工事の推進	1,200,754	1,150,219	50,534	1	2箇所 (累計240箇所 進捗率93.8%)
重要施設の耐水化	30,375	21,009	—	9,366	水道局本庁舎耐水化工事の設計等
イ 事故・テロ等対策の推進	57,216	49,792	—	7,424	
水道施設のセキュリティの確保	29,472	22,248	—	7,224	浄水場等の機械警備等
水道原水の監視	27,744	27,544	—	200	多々良取水場油検知器の更新等
ウ 危機管理体制等の充実	11,545	10,493	—	1,052	大都市水道局合同防災訓練等への参加 注水設備の更新 1箇所等
合計	1,299,890	1,231,513	50,534	17,843	

(4) 安定経営の持続

151,871 千円

ア お客さまとのコミュニケーションの推進とサービスの向上

27,150 千円

お客さまの水道事業に対する理解と信頼が深まるよう、広報紙やホームページ、ソーシャルメディアなど様々な広報媒体、オンラインによる各種イベントや動画の配信等を通して、お客さまが必要としている情報を、よりわかりやすく発信するよう努めた。

また、インターネットで過去の水道料金の確認や口座振替の申込等が行えるサービスについて、利用者の拡大に取り組んだ。

イ 経営の効率化

110,795 千円

現行の水道料金系システムは、昭和 63 年の導入以降、度重なる改修によって複雑化・旧式化しており、急速に高度化・多様化している ICT 環境に対応するとともに、業務の効率化やお客さまサービスの向上等を図るため、令和 6 年からの稼働に向け、システムの再構築に着手した。

また、ICT 技術を活用した水道施設の維持管理等の検討・検証を行うなど、経営の効率化に取り組んだ。

ウ 人材育成の推進

13,926 千円

各職場における仕事を通じた職員の指導・育成（OJT）をはじめ、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、水道技術研修所における実技研修の実施や動画の活用等により、人材育成を図った。

また、JICA（独立行政法人国際協力機構）等と連携し、開発途上国への技術協力等の国際貢献活動を通して、現地の給水環境の改善に寄与するとともに、職員の水道技術やノウハウのさらなる向上を図った。

さらに、水道局実技研修に他水道事業体職員を受け入れるなど、水道事業を支える関係者の水道技術の維持向上に努めた。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	不用額 A - B	事業内容
ア お客さまとのコミュニケーションの推進とサービスの向上	31,798	27,150	4,648	
積極的な情報提供	22,415	17,880	4,535	広報紙「みずだより」の発行 小学校向け出前講座の実施 水道事業紹介動画の作成 等
ICTを活用したサービスの向上	9,383	9,270	113	水道使用量や料金のWEB照会 口座振替等のWEB申込み手続き
イ 経営の効率化	129,536	110,795	18,741	水道料金系システムの再構築
ウ 人材育成の推進	40,277	13,926	26,351	
技術の継承等による人材育成	18,684	12,967	5,717	水道技術研修所での技術研修や 職員研究発表会の開催 等
国際貢献活動	21,593	959	20,634	フィジー共和国への技術協力 等
合計	201,611	151,871	49,740	

(5) 工業用水の安定供給と安定経営の持続

326,093 千円

工業用水の安定供給を図るため、老朽化した管路の更新を進めるとともに、浄水場設備更新工事の実施設計を行った。

また、工業用水道事業の安定的な経営を持続させるため、民間活力の活用等による経営の効率化を図るとともに、新規顧客の開拓など、需要の拡大に取り組んだ。

(単位：千円)

事業名	最終予算額 A	決算額 B	翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	事業内容
配水管整備事業	639,035	311,023	228,390	99,622	基幹管路等の更新 1,159m
浄水場整備事業	19,140	15,070	—	4,070	金島浄水場薬品注入設備更新工事の実施設計 等
合計	658,175	326,093	228,390	103,692	

I 水道事業会計

1 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収入

科 目	最終予算額 A	決算額 B	対予算比率 B/A×100
1. 水道事業収益	円 38,777,611,000	円 38,665,527,488	% 99.7
1. 営業収益	34,031,278,000	34,098,691,979	100.2
1. 給水収益	33,800,800,000	33,883,041,378	100.2
2. 小呂島地区簡易水道事業収益	2,382,000	2,500,929	105.0
3. その他収益	228,096,000	213,149,672	93.4
2. 営業外収益	4,730,333,000	4,549,483,445	96.2
1. 受取利息	1,000	4,825,339	著増
2. 補助金	82,741,000	78,666,755	95.1
3. 負担金	2,006,239,000	1,968,717,936	98.1
4. 使用料	89,832,000	87,241,383	97.1
5. 償金	145,297,000	97,098,557	66.8
6. 長期前受金入	2,302,970,000	2,213,420,465	96.1
7. 雑収益	103,253,000	99,513,010	96.4

(△印減)

増 減 B - A	説 明
△ 112,083,512	円
67,413,979	
82,241,378	○業務量（上水道） 年間総給水量 一日平均給水量 有収率 年間使用水量 水道料金 (m ³) (m ³ /日) (%) (m ³) (千円) (予 算) 152,059,000 416,600 96.6 146,902,750 33,800,800 (決 算) 152,215,000 417,027 96.6 146,974,389 33,883,041 (増 減) 156,000 427 - 71,639 82,241
118,929	○業務量（小呂島地区簡易水道） 年間総給水量 一日平均給水量 有収率 年間使用水量 水道料金 (m ³) (m ³ /日) (%) (m ³) (千円) (予 算) 11,937 33 93.9 11,209 2,382 (決 算) 13,867 38 87.4 12,126 2,501 (増 減) 1,930 5 △ 6.5 917 119
△ 14,946,328	手数料 分担金 135,390,368 76,575,983
△ 180,849,555	
4,824,339	一般会計貸付金利息
△ 4,074,245	一般会計補助金 72,324,925 福岡地区水道企業団補助金 (36,293,000) 職員への児童手当に対する補助金 (24,655,334) 水道水源かん養事業補助金 (11,376,591) その他補助金 6,341,830 森林総合整備補助金 (6,301,840)
△ 37,521,064	下水道使用料徴収費等負担金 1,627,901,481 浄水場維持管理費等負担金 246,747,916 簡易水道経営費等負担金 47,090,560 消火栓関係負担金 38,690,372 工業用水道事業負担金 8,287,607
△ 2,590,617	庁舎等使用料
△ 48,198,443	下水道整備工事等に伴う配水管移仮設等の補償金
△ 89,549,535	過去の建設改良費に充てた補助金等に係る当年度収益化に伴う戻入益
△ 3,739,990	物品売却等収入（売電、間伐材、量水器、広告等） 42,684,381 配水管等撤去工事に係る補償金 10,234,264 管破損賠償金等収入 9,272,325 技能講習会受託事業等収入 5,772,428 受益者負担金等その他収入 31,549,612

科 目		最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
	3. 特 別 利 益	16,000,000 円	17,352,064 円	108.5 %
	1. 固 定 資 産 産 益 売 却	1,000	—	—
	2. 過 年 度 損 益 益 修 正	15,999,000	17,352,064	108.5

(△印減)

増 減 B - A	説 明
円 1,352,064	
△ 1,000	
1,353,064	過年度水道料金更正増等

イ 支 出

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
1. 水 道 事 業 費 用	32,990,799,000 円	32,012,539,649 円	97.0 %
1. 営 業 費 用	30,531,982,000	29,611,590,512	97.0
1. 原 水 及 び 浄 水 費	10,854,617,000	10,380,651,154	95.6
2. 配 水 費	2,148,341,000	2,046,846,992	95.3
3. 給 水 費	1,822,108,000	1,790,156,690	98.2
4. 量 水 器 費	554,846,000	538,700,012	97.1

翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	説明	明
円 14,807,000	円 963,452,351		円
14,807,000	905,584,488		
7,200,000	466,765,846	ダム、浄水場等施設の維持管理に要した費用及び受水費	
		給与費 171人分	1,117,436,010
		受水費	6,341,559,801
		計装点検等委託料	759,484,041
		施設等の修繕費	684,078,632
		動力費	477,008,028
		ダム管理費等負担金	235,958,637
		薬品費	200,347,554
		福岡地区水道企業団への補助金	36,293,000
		その他の経費(材料費、交付金等)	528,485,451
		○不用額の主なもの	
		・施設等の修繕費	210,041,368
		・薬品費	63,761,446
		・計装点検等委託料	58,539,959
		・動力費	47,835,972
		・その他の経費	36,854,549
7,607,000	93,887,008	配水管等施設の維持管理及び配水管移仮設等に要した費用	
		給与費 111人分	788,696,385
		漏水防止調査等委託料	588,799,274
		移仮設等工事費(修繕費、材料費、補償費)	514,440,583
		その他の経費(配水調整経費等)	154,910,750
		○不用額の主なもの	
		・移仮設等工事費	51,589,417
		・漏水防止調査等委託料	21,596,726
		・その他の経費	10,726,250
—	31,951,310	給水装置その他付属設備の維持管理に要した費用	
		給与費 39人分(うち、サービス公社派遣職員 20人)	241,403,345
		漏水防止給水管取替工事等修繕費	1,162,670,043
		漏水発生給水管応急修理業務等委託料	352,114,456
		その他の経費	33,968,846
		○不用額の主なもの	
		・給水装置工事設計審査、検査等業務等委託料	16,784,544
		・漏水修理箇所等舗装工事等修繕費	6,240,957
—	16,145,988	量水器の維持管理及び取替に要した費用	
		給与費 5人分(うち、サービス公社派遣職員 3人)	34,360,561
		水道メーター維持管理業務委託料	309,103,619
		量水器検定修理委託料	93,336,422
		電算事務経費	44,704,936
		その他の経費	57,194,474
		○不用額の主なもの	
		・水道メーター維持管理業務委託料	10,390,381
		・給与費	2,855,439

科 目		最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
		円	円	%
	5. 業 務 費	2,126,823,000	2,079,272,316	97.8
	6. 総 係 費	1,520,498,000	1,418,086,184	93.3
	7. 小 呂 島 地 区 簡 易 水 道 事 業 費	49,966,000	40,002,080	80.1
	8. 減 価 償 却 費	11,117,831,000	11,024,923,627	99.2
	9. 資 産 減 耗 費	336,952,000	292,951,457	86.9
2.	営 業 外 費 用	2,382,034,000	2,381,673,493	100.0
	1. 支 払 利 息	1,640,738,000	1,640,737,851	100.0
	2. 企 業 債 諸 取 扱 費	7,948,000	7,946,948	100.0
	3. 消 費 税	730,563,000	730,562,900	100.0
	4. 雑 支 出	2,785,000	2,425,794	87.1

翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	説明	
円	円		円
—	47,550,684	検針及び料金の調定並びに収納等に要した費用 給与費 37人分 231,228,952 営業所業務民間委託料 955,667,962 お客さまセンターの運営等経費 219,156,857 電算事務経費 178,359,715 その他の経費（収納事務費等） 494,858,830 ○不用額の主なもの ・給与費 12,172,048 ・電算事務経費 10,526,285 ・その他の経費 22,889,170	
—	102,411,816	水道広報費及び事業活動の全般に関連した一般管理費 給与費 101人分 983,885,592 庁舎管理経費（委託料、光熱水費等） 140,692,868 電算事務経費 85,193,952 水道広報費 28,396,172 その他の経費（一般管理経費等） 179,917,600 ○不用額の主なもの ・給与費 19,468,408 ・庁舎管理経費 14,115,132 ・その他の経費 54,931,400	
—	9,963,920	小呂島地区簡易水道の維持管理費	
—	92,907,373	有形固定資産減価償却費 9,916,292,254 無形固定資産減価償却費 1,108,631,373	
—	44,000,543	配水管除却費等	
—	360,507		
—	149	企業債利息	
—	1,052	企業債の借入れ及び償還に要した手数料	
—	100	消費税及び地方消費税の納付税額	
—	359,206	再生水管修繕費等	

科 目		最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
		円	円	%
3.	特 別 損 失	26,783,000	19,275,644	72.0
	1. 過 年 度 損 益 損 修 正	26,606,000	19,100,365	71.8
	2. そ の 特 別 の 損 他 失	1,000	—	—
	3. 固 定 資 産 損 売 却	176,000	175,279	99.6
4.	予 備 費	50,000,000	—	—
	1. 予 備 費	50,000,000	—	—

翌年度繰越額 C	不用額 A - (B + C)	説明
円 —	円 7,507,356	
—	7,505,635	過年度水道料金更正減等
—	1,000	
—	721	売却額 1,149,380 (P25~26 「7. その他の資本的収入」 に計上) 簿価 1,324,659 売却損 △175,279
—	50,000,000	
—	50,000,000	

(2) 資本的収入及び支出
ア 収入

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対予算比率 B/A×100
1. 資本的収入	円 13,448,893,000	円 11,916,086,248	% 88.6
1. 企業債	9,300,000,000	7,797,000,000	83.8
1. 企業債	9,300,000,000	7,797,000,000	83.8
2. 補助金	1,437,884,000	1,729,980,000	120.3
1. 国庫補助金	1,437,884,000	1,729,980,000	120.3
3. 出資金	1,225,732,000	1,177,368,015	96.1
1. 一般会計出資金	1,225,732,000	1,177,368,015	96.1
4. 負担金	259,738,000	233,706,359	90.0
1. 一般会計負担金	21,917,000	22,756,032	103.8
2. 工事負担金	237,821,000	210,950,327	88.7
5. 加入金	895,070,000	874,896,000	97.7
1. 加入金	895,070,000	874,896,000	97.7
6. 預託金返還金	6,000,000	—	—
1. 預託金返還金	6,000,000	—	—
7. その他の資本的収入	324,469,000	103,135,874	31.8
1. 固定資産売却代	1,000	1,149,380	著増
2. 補償金	324,468,000	101,986,494	31.4

(△印減)

翌年度繰越額 C	増 減 B - (A - C)	説 明
円 1,543,923,000	円 11,116,248	円
1,500,000,000	△ 3,000,000	
1,500,000,000	△ 3,000,000	配水施設整備事業費充当債 4,851,000,000 水源・浄水場整備事業費充当債 2,225,000,000 小呂島簡易水道整備事業費充当債 13,000,000 借換債 708,000,000
—	292,096,000	
—	292,096,000	水源・浄水場整備事業に対する国庫補助金 1,392,980,000 配水施設整備事業に対する国庫補助金 337,000,000
—	△ 48,363,985	
—	△ 48,363,985	福岡地区水道企業団への出資金 609,711,000 水道施設の耐震化事業等に対する出資金 567,657,015
—	△ 26,031,641	
—	839,032	小呂島地区簡易水道事業に対する負担金
—	△ 26,870,673	配水管整備事業等に対する負担金
—	△ 20,174,000	
—	△ 20,174,000	水道加入金 16,475件
—	△ 6,000,000	
—	△ 6,000,000	
43,923,000	△ 177,410,126	
—	1,148,380	農業用溜池改修工事に係る用地売却収入
43,923,000	△ 178,558,506	下水道整備工事等に伴う配水管移仮設等の補償金

イ 支 出

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
1. 資 本 的 支 出	円 32,643,170,000	円 28,047,078,395	% 85.9
1. 建 設 改 良 費	23,035,547,000	18,459,748,611	80.1
1. 配 水 施 設 整 備 事 業 費	13,848,429,000	10,985,719,575	79.3
2. 水 源 ・ 浄 水 場 整 備 事 業 費	8,496,402,000	7,015,701,825	82.6
3. 小 呂 島 簡 易 水 道 整 備 事 業 費	16,821,000	14,647,694	87.1
4. 設 備 費	673,895,000	443,679,517	65.8
2. 償 還 金	8,936,310,000	8,936,309,987	100.0
1. 企 業 債 償 還 金	8,936,310,000	8,936,309,987	100.0

翌年度繰越額 C	不用額 A-(B+C)	説明	
円 4,344,830,000	円 251,261,605		円
4,344,830,000	230,968,389		
2,840,912,000	21,797,425	配水管整備事業 10,770,393,087 給与費 78人分 (601,154,821) 改良工事(延長 42,841m) (9,084,417,544) 新設工事(延長 3,627m) (546,082,019) 設計委託、事務費等 (538,738,703) 配水調整システム整備事業 215,326,488 (遠方監視制御装置の更新) ○不用額の主なもの ・配水管整備事業 21,120,913 ・配水調整システム整備事業 676,512	
1,322,924,000	157,776,175	水源・浄水場整備事業 1,132,450,415 給与費 18人分 (136,173,198) 南畑系導水管更新工事費 (226,540,153) 瑞梅寺浄水場次亜塩素酸ナトリウム注入設備更新工事費 (139,462,400) 脊振ダム放流設備更新工事費 (106,589,340) その他整備工事費等 (523,685,324) 浄水場再編事業 5,883,251,410 給与費 15人分 (124,585,267) 乙金浄水場整備工事費 (5,437,291,240) 高宮系送水管布設工事費 (265,072,000) その他整備工事費等 (56,302,903) ○不用額の主なもの ・浄水場再編事業 98,334,590 ・水源・浄水場整備事業 59,441,585	
—	2,173,306	簡易水道浄水場内整備工事詳細設計委託等	
180,994,000	49,221,483	量水器、水質検査機器等購入費 203,061,430 リース資産購入費 172,037,352 諸施設の更新工事等 43,761,215 庁舎整備事業 24,819,520 ○不用額の主なもの ・量水器、水質検査機器等購入費 27,356,570 ・庁舎整備事業 8,698,480	
—	13		
—	13	企業債元金償還金	

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
3. 出 資 金	614,004,000	609,711,000	99.3
1. 出 資 金	614,004,000	609,711,000	99.3
4. 預 託 金	6,000,000	—	—
1. 預 託 金	6,000,000	—	—
5. 国 庫 補 助 金 返 還 金	41,309,000	41,308,797	100.0
1. 国 庫 補 助 金 返 還 金	41,309,000	41,308,797	100.0
6. 予 備 費	10,000,000	—	—
1. 予 備 費	10,000,000	—	—

(3) 企業債の状況

(△印減)

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	差 引
起 債 額	7,797,000	7,297,000	500,000
償 還 額	8,936,310	8,351,822	584,488
年 度 末 現 在 高	104,972,337	106,111,647	△ 1,139,310
給水収益・企業債残高比率 (企業債残高／給水収益)	3.4	3.5	△ 0.1

翌年度繰越額 C	不用額 A - (B + C)	説明
円 —	円 4,293,000	
—	4,293,000	福岡地区水道企業団に対する出資金
—	6,000,000	
—	6,000,000	
—	203	
—	203	消費税計算に基づく国庫補助金返還金
—	10,000,000	
—	10,000,000	

2 繰越事業の進捗状況

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	令和3年度	
			予算計上額	支払義務発生額
			A	B
1. 資本的支出	1. 建設改良費	配水施設 整備事業	千円 10,145,739	千円 7,285,105
		水源・浄水場 整備事業	8,318,523	6,861,656
		設備費	644,376	418,077
計			19,108,638	14,564,838

地方公営企業法第26条第2項ただし書の規定による事故繰越額

款	項	事業名	令和3年度	
			予算計上額	支払義務発生額
			A	B
1. 水道事業費用	1. 営業費用	原水及び 浄水費	千円 10,854,617	千円 10,380,651
		配水費	千円 2,148,341	千円 2,046,847
計			13,002,958	12,427,498

予 算 執 行 状 況		令和3年度からの繰越額の 執行状況 (令和4年8月末現在)		備 考
令和4年度への 繰越額 C	不 用 額 A-(B+C)=D	支 出 負 担 行 為 額 E	執 行 率 E / C × 100	
千円 2,840,912	千円 19,722	千円 2,807,626	% 98.8	○繰越の説明 関係者との協議に日時を要した こと等により、年度内に完了し ないため。 ○今後の進捗見通し 令和5年2月21日事業完了予定
1,322,924	133,943	1,154,093	87.2	○繰越の説明 工期の都合等により、年度内に 完了しないため。 ○今後の進捗見通し 令和5年3月31日事業完了予定
180,994	45,305	164,971	91.1	○繰越の説明 工期の都合等により、年度内に 完了しないため。 ○今後の進捗見通し 令和5年3月15日事業完了予定
4,344,830	198,970	4,126,690	—	

予 算 執 行 状 況		令和3年度からの繰越額の 執行状況 (令和4年8月末現在)		備 考
令和4年度への 繰越額 C	不 用 額 A-(B+C)=D	支 出 負 担 行 為 額 E	執 行 率 E / C × 100	
千円 7,200	千円 466,766	千円 7,200	% 100.0	○繰越の説明 新型コロナウイルス感染症の影響 により、材料の調達に遅れが 生じ、年度内に完了しないた め。 ○今後の進捗見通し 令和4年8月8日事業完了
千円 7,607	千円 93,887	千円 7,606	% 100.0	○繰越の説明 追加工程の発生により、年度内 に完了しないため。 ○今後の進捗見通し 令和4年5月23日事業完了
14,807	560,653	14,806	—	

3 給水状況等

(1) 業務量

(△印減)

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	差 引	
			増 減	比 率
給 水 人 口	人 1,612,455	人 1,607,761	人 4,694	% 0.3
給 水 戸 数	戸 932,078	戸 922,849	戸 9,229	1.0
年 間 総 給 水 量	m ³ 152,228,867	m ³ 152,254,543	m ³ △ 25,676	△ 0.0
一 日 平 均 給 水 量	m ³ 417,065	m ³ 417,136	m ³ △ 71	△ 0.0
一 日 最 大 給 水 量	m ³ 452,935	m ³ 454,833	m ³ △ 1,898	△ 0.4
年 間 有 収 水 量	m ³ 146,992,125	m ³ 146,961,630	m ³ 30,495	0.0
有 収 率	% 96.6	% 96.5	% 0.1	—
施 設 能 力	m ³ /日 780,987	m ³ /日 780,987	m ³ /日 —	—

※ 小呂島地区簡易水道事業を含む。

※ 令和2年度給水人口は、令和2年10月国勢調査による遡及修正値

(2) 水道料金用途別内訳 (対前年度決算比較)

用途	令和3年度							
	延戸数		使用水量		金額		延戸数	
	戸	構成比	m ³	構成比	円	構成比	戸	構成比
合計	(931,995)				< 30,804,464,197 >	< 100.0 >	(922,767)	
	5,539,729	100.0	146,974,389	100.0	33,883,041,378	100.0	5,476,610	100.0
家事用	(865,473)				< 19,852,886,325 >	< 64.4 >	(856,339)	
	5,142,361	92.8	120,635,523	82.1	21,836,656,869	64.4	5,078,996	92.7
家事以外の用	(64,630)				< 10,621,533,520 >	< 34.5 >	(64,694)	
	386,823	7.0	25,964,885	17.7	11,683,341,648	34.5	387,520	7.1
その他	(12)				< 2,209,516 >	< 0.0 >	(12)	
	72	0.0	37,049	0.0	2,430,437	0.0	77	0.0
の一時用	(1,880)				< 327,834,836 >	< 1.1 >	(1,722)	
	10,473	0.2	336,932	0.2	360,612,424	1.1	10,017	0.2
他小計	(1,892)				< 330,044,352 >	< 1.1 >	(1,734)	
	10,545	0.2	373,981	0.2	363,042,861	1.1	10,094	0.2

※延戸数の上段の()は、年度末戸数

※金額の上段の<>は、消費税抜き金額

※金額の下段は、消費税込み金額

(△印減)

令和2年度				差引増減					
使用水量		金額		延戸数		使用水量		金額	
	構成比		構成比		伸率		伸率		伸率
m ³	%	円	%	戸	%	m ³	%	円	%
		< 30,477,152,674 >	< 100.0 >	< 9,228 >				< 327,311,523 >	< 1.1 >
146,945,622	100.0	33,523,071,884	100.0	63,119	1.2	28,767	0.0	359,969,494	1.1
		< 19,906,789,608 >	< 65.3 >	< 9,134 >				< △ 53,903,283 >	< △ 0.3 >
121,198,497	82.5	21,895,970,852	65.3	63,365	1.2	△ 562,974	△ 0.5	△ 59,313,983	△ 0.3
		< 10,245,902,506 >	< 33.6 >	< △ 64 >				< 375,631,014 >	< 3.7 >
25,376,799	17.3	11,270,199,268	33.6	△ 697	△ 0.2	588,086	2.3	413,142,380	3.7
		< 2,335,288 >	< 0.0 >	< - >				< △ 125,772 >	< △ 5.4 >
39,262	0.0	2,568,783	0.0	△ 5	△ 6.5	△ 2,213	△ 5.6	△ 138,346	△ 5.4
		< 322,125,272 >	< 1.1 >	< 158 >				< 5,709,564 >	< 1.8 >
331,064	0.2	354,332,981	1.1	456	4.6	5,868	1.8	6,279,443	1.8
		< 324,460,560 >	< 1.1 >	< 158 >				< 5,583,792 >	< 1.7 >
370,326	0.2	356,901,764	1.1	451	4.5	3,655	1.0	6,141,097	1.7

(3) 令和3年度決算 水道料金用途別内訳

用途	区分				延戸数		使用水量		金額			
	メーター口径	使用水量 (1か月当たり)	単価		構成比		構成比		構成比	供給単価		
		m ³	円	戸	%	m ³	%	円	%	円		
家事用	基本料金	13mm	—	850	2,726,915	53.0	—	—	4,526,794,197	41.1		
		20mm	—	1,330	2,384,233	46.4	—	—	6,266,740,654	56.8		
		25mm以上	—	3,110～	31,213	0.6	—	—	228,553,377	2.1		
		計			5,142,361	100.0	—	—	11,022,088,228	100.0		
	従量料金		0	—	194,114	3.8	—	—	—	—		
		第1段	25mm以下	1～10	17	2,377,616	46.2	79,317,278	65.7	1,348,393,726	15.3	
			40mm以上	1～10	120	223	0.0	28,635	0.0	3,436,200	0.0	
			11～20	155	1,867,214	36.3	31,438,471	26.1	4,872,963,005	55.2		
		第2段	21～30	243	574,895	11.2	7,209,631	6.0	1,751,940,333	19.8		
		第3段	31～50	284	122,092	2.4	1,504,277	1.3	427,214,668	4.8		
		第4段	51～100	335	4,584	0.1	254,966	0.2	85,413,610	1.0		
	第5段	101～	387	1,623	0.0	882,265	0.7	341,436,555	3.9			
		計			5,142,361	100.0	120,635,523	100.0	8,830,798,097	100.0		
	計	小計								19,852,886,325		164.57
		消費税分				5,142,361	92.8	120,635,523	82.1	1,983,770,544	64.4	
		計								21,836,656,869		181.01
	家事以外の用	基本料金	13mm	—	850	192,277	49.7	—	—	321,202,132	15.7	
20mm			—	1,330	125,660	32.5	—	—	329,761,771	16.1		
25mm以上			—	3,110～	68,886	17.8	—	—	1,398,777,322	68.2		
計					386,823	100.0	—	—	2,049,741,225	100.0		
従量料金			0	—	22,900	5.9	—	—	—	—		
		第1段	25mm以下	1～10	17	203,158	52.5	4,474,500	17.2	76,066,500	0.9	
			40mm以上	1～10	175	2,962	0.8	557,834	2.1	97,620,950	1.1	
			11～30	243	94,008	24.3	3,784,142	14.6	919,546,506	10.7		
		第2段	31～100	335	41,941	10.8	4,927,763	19.0	1,650,800,605	19.3		
		第3段	101～300	416	14,837	3.8	4,833,603	18.6	2,010,778,848	23.4		
		第4段	301～1000	497	5,679	1.5	4,151,076	16.0	2,063,084,772	24.1		
第5段		1001～	542	1,338	0.4	3,235,967	12.5	1,753,894,114	20.5			
		計			386,823	100.0	25,964,885	100.0	8,571,792,295	100.0		
計		小計								10,621,533,520		409.07
		消費税分				386,823	7.0	25,964,885	17.7	1,061,808,128	34.5	
		計								11,683,341,648		449.97
公衆浴場用		基本料金	13mm	—	850	—	—	—	—	—	—	
	20mm		—	1,330	6	8.3	—	—	15,960	2.6		
	25mm以上		—	3,110～	66	91.7	—	—	597,960	97.4		
	計				72	100.0	—	—	613,920	100.0		
	従量料金		0	—	—	—	—	—	—	—		
		第1段	25mm以下	1～10	17	—	—	1,200	3.3	20,400	1.3	
			40mm以上	1～10	35	—	—	240	0.6	8,400	0.5	
	第2段	11～	44	72	100.0	35,609	96.1	1,566,796	98.2			
		計			72	100.0	37,049	100.0	1,595,596	100.0		
	計	小計								2,209,516		59.64
		消費税分				72	0.0	37,049	0.0	220,921	0.0	
計								2,430,437		65.60		
一時用				973					327,834,836		973.00	
	消費税分				10,473	0.2	336,932	0.2	32,777,588	1.1		
	計								360,612,424		1,070.28	
合計	小計								30,804,464,197		209.59	
	消費税分				5,539,729	100.0	146,974,389	100.0	3,078,577,181	100.0		
	計								33,883,041,378		230.54	

※ 基本料金と従量料金の延戸数は重複する。

用途	1 戸 1 か 月 当 たり 平 均 (m ³ 、円)				
	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
家事用	11.7 〈 1,930 〉 2,123	11.9 〈 1,960 〉 2,156	11.4 〈 1,881 〉 2,044	11.5 〈 1,892 〉 2,043	11.6 〈 1,905 〉 2,057
家事以外の用	33.6 〈 13,729 〉 15,102	32.7 〈 13,220 〉 14,541	39.7 〈 16,331 〉 17,744	40.8 〈 16,821 〉 18,167	41.9 〈 17,275 〉 18,657
公衆浴場用	257.3 〈 15,344 〉 16,878	254.9 〈 15,164 〉 16,680	254.7 〈 15,137 〉 16,450	241.8 〈 14,571 〉 15,737	242.9 〈 14,620 〉 15,789
一時用	16.1 〈 15,651 〉 17,216	16.5 〈 16,079 〉 17,687	18.1 〈 17,617 〉 19,157	18.8 〈 18,288 〉 19,751	15.7 〈 15,322 〉 16,547
合計	13.3 〈 2,780 〉 3,058	13.4 〈 2,782 〉 3,061	13.5 〈 2,943 〉 3,198	13.6 〈 2,988 〉 3,227	13.8 〈 3,025 〉 3,267

※上段 使用水量 m³

※中段 〈 〉 消費税抜き金額 円

※下段 消費税込み金額 円

4 配水管整備事業

(消費税込)

区 分		延 長		金 額		備 考
		計 画	実績及び見込	計 画	実績及び見込	
第 1 6 次 計 画	令和3年度	km 50.1	km (実績) 46.5	千円 9,944,697	千円 (実績) 10,770,393	令和3年度末配水管延長 4,055.0km
	令和4年度	50.7	(見込) 65.9	10,055,144	(見込) 13,779,109	
	令和5年度	51.8	—	9,893,303	—	
	令和6年度	49.6	—	9,845,882	—	
	計	202.2	112.4	39,739,026	24,549,502	

(参考)

区 分	実施年度	延 長	金 額	備 考
第15次	平成29～令和2年度	km 202.0	千円 35,319,458	令和2年度末配水管延長 4,045.3km

5 漏水防止事業

(消費税込)

区 分		漏水防止調査		給水管工事		金 額	
		計 画	実績及び見込	計 画	実績及び見込	計 画	実績及び見込
第 1 8 次 計 画	令和3年度	km 2,960	km (実績) 2,967	件 2,650	件 (実績) 2,582	千円 877,556	千円 (実績) 862,604
	令和4年度	2,960	(見込) 2,960	2,650	(見込) 2,650	875,568	(見込) 892,006
	令和5年度	2,960	—	2,650	—	884,241	—
	令和6年度	2,960	—	2,650	—	878,717	—
	計	11,840	5,927	10,600	5,232	3,516,082	1,754,610

(参考)

区 分	実施年度	調査延長	給水管工事	金 額
第17次	平成29～令和2年度	km 11,878	件 12,221	千円 3,734,475

6 補助金の支出状況

款別	補助金の名称	交付先	最終予算額 A	決算額 B	不用額 A-B
水道 事業 費用	福岡地区水道企業団 に対する補助金	福岡地区水道企業団	円 36,293,000	円 36,293,000	円 -
	福岡市水道水源かん 養等活動助成金	曲渚里山くらぶ、 堤小おやじの会	900,000	75,000	825,000
	福岡市水源林ボラン ティア活動助成金	福岡市水源林ボラン ティアの会	630,000	563,850	66,150
合		計	37,823,000	36,931,850	891,150

7 水道事業の財政状況

財政収支計画（令和3～6年度）

（消費税抜、単位：千円）

年度	収 益 的 収 入			支 出	単 年 度 損 益	※1 利 益 処 分	累 積 損 益
	給水収益	その他	計				
	令和2年度 最終予算	30,415,000	4,540,962	34,955,962	30,627,484	4,328,478	4,328,478
令和3年度 (A)	30,728,000	4,779,322	35,507,322	31,029,381	4,477,941	4,477,941	—
令和4年度	30,783,000	4,586,996	35,369,996	31,064,475	4,305,521	4,305,521	—
令和5年度	30,820,000	4,589,470	35,409,470	31,238,916	4,170,554	4,170,554	—
令和6年度	30,868,000	4,765,619	35,633,619	31,761,303	3,872,316	3,872,316	—
4か年計	123,199,000	18,721,407	141,920,407	125,094,075	16,826,332	16,826,332	期間中残高増減 —

財政収支見込（令和3～6年度）

（消費税抜、単位：千円）

年度	収 益 的 収 入			支 出	※2 単 年 度 損 益	※1 利 益 処 分	累 積 損 益
	給水収益	その他	計				
	令和2年度 決算	30,477,153	4,540,917	35,018,070	29,936,003	5,082,067	5,082,067
令和3年度 決算 (B)	30,804,464	4,590,685	35,395,149	29,984,632	5,410,517	5,410,517	—
令和4年度 予算	30,769,000	4,691,067	35,460,067	31,156,456	4,303,611	4,303,611	—
令和5年度 計画	30,820,000	4,589,470	35,409,470	31,238,916	4,170,554	4,170,554	—
令和6年度 計画	30,868,000	4,765,619	35,633,619	31,761,303	3,872,316	3,872,316	—
4か年計	123,261,464	18,636,841	141,898,305	124,141,307	17,756,998	17,756,998	期間中残高増減 —
(令和3年度決算) (令和3年度計画) 差 引 (B) - (A)	76,464	△188,637	△112,173	△1,044,749	932,576	932,576	—

※1 「利益処分」額には、平成26年度からの公営企業会計基準の適用に伴い、未処分利益剰余金に再計上することとなった、企業債の償還財源として使用した減債積立金取崩額は含めていない。

※2 令和4年度予算の収益的支出及び資本的収支には、令和3年度からの繰越額を含む。

(消費税込、単位:千円) (単位:千円)

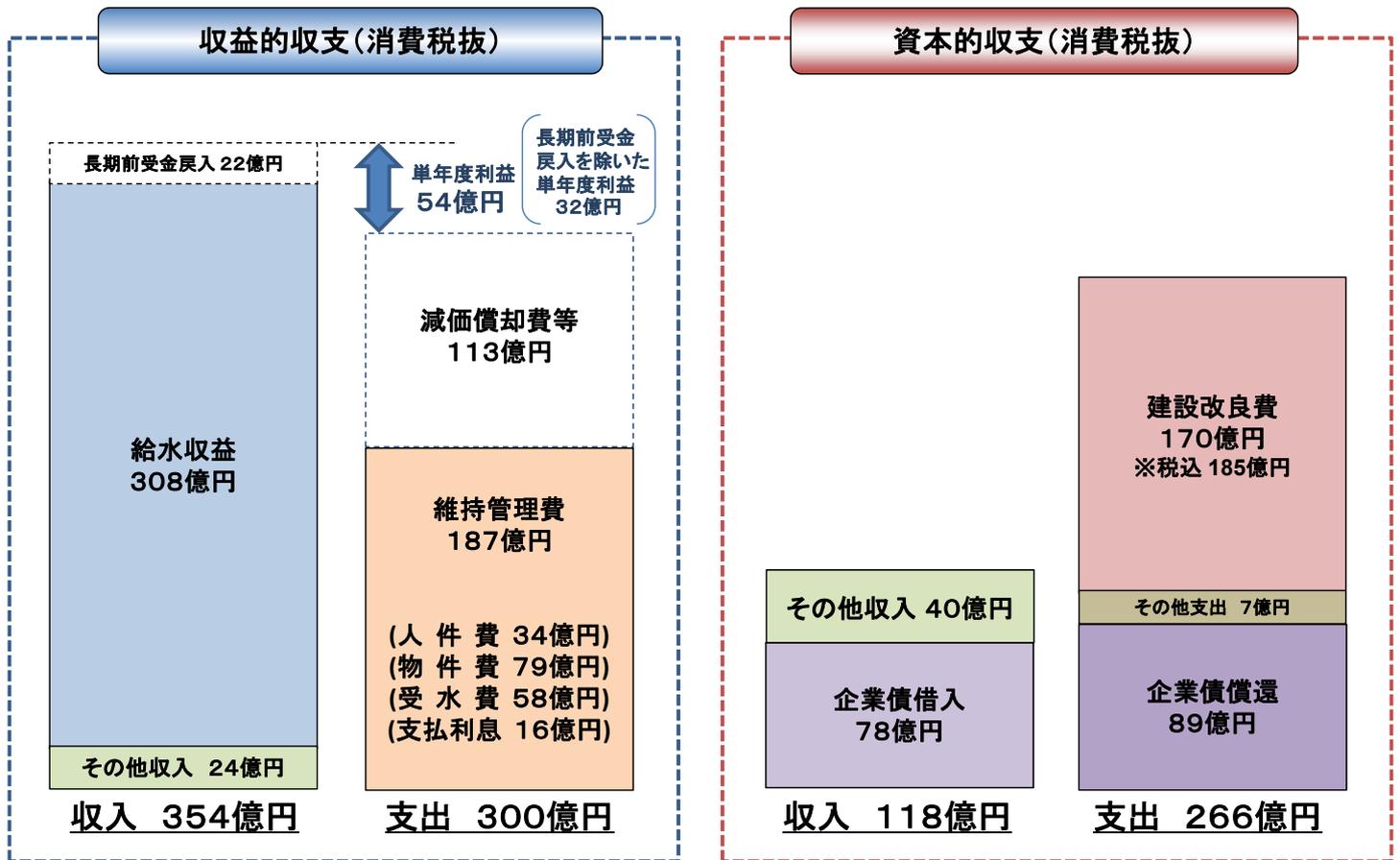
資 本 的 収 支			補 て ん 財 源 ※ 3		単年度資金 過不足額	累積資金 過不足額	企 業 債 残 高
収 入	支 出	資本的収支 過不足額	損益勘定 留保資金等	単年度損益 (長期前受金戻入除く)			
11,512,423	27,844,847	△ 16,332,424	14,900,458	2,094,121	662,155	8,570,079	106,611,647
12,845,578	28,678,883	△ 15,833,305	12,453,906	2,174,971	△ 1,204,428	7,365,651	106,475,337
12,060,825	28,270,907	△ 16,210,082	12,903,979	2,096,293	△ 1,209,810	6,155,841	106,342,827
12,456,992	28,115,146	△ 15,658,154	12,433,438	1,940,010	△ 1,284,706	4,871,135	106,342,060
10,541,474	27,957,447	△ 17,415,973	13,996,209	1,597,241	△ 1,822,523	3,048,612	106,340,682
47,904,869	113,022,383	△ 65,117,514	51,787,532	7,808,515	△ 5,521,467	期間中残高増減 △ 5,521,467	期間中残高増減 △ 270,965

(消費税込、単位:千円) (単位:千円)

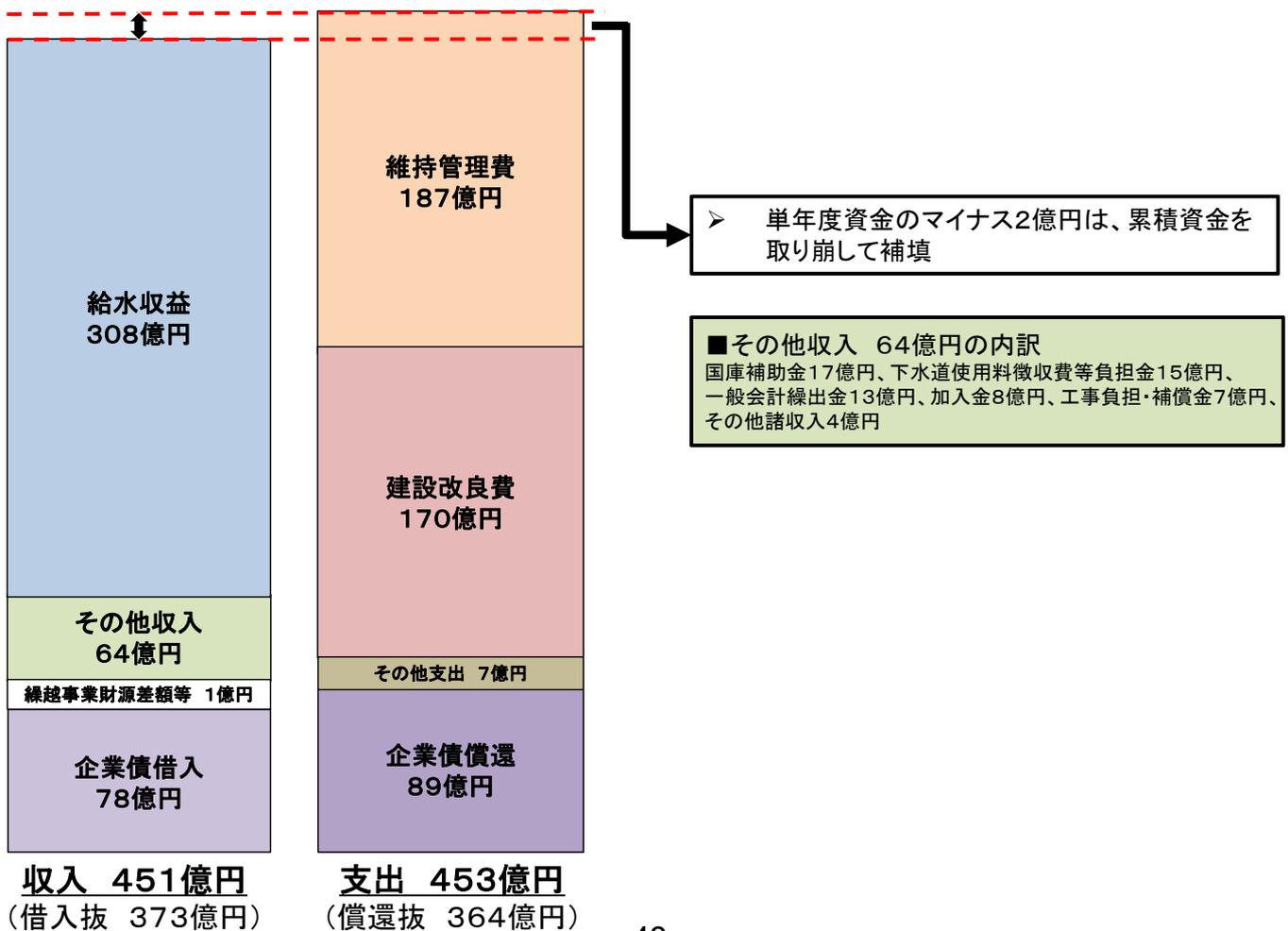
資 本 的 収 支			補 て ん 財 源 ※ 3		単年度資金 過不足額	累積資金 過不足額	企 業 債 残 高
収 入 ※2	支 出 ※2	資本的収支 過不足額	損益勘定 留保資金等	単年度損益 (長期前受金戻入除く)			
10,732,731	23,561,578	△ 12,828,847	11,341,770	2,837,034	1,349,957	9,257,881	106,111,647
11,916,086	28,047,078	△ 16,130,992	12,758,941	3,197,097	△ 174,954	9,082,927	104,972,337
14,453,078	32,794,172	△ 18,341,094	15,583,601	2,041,666	△ 715,827	8,367,100	106,339,223
12,456,992	28,115,146	△ 15,658,154	12,433,438	1,940,010	△ 1,284,706	7,082,394	106,338,456
10,541,474	27,957,447	△ 17,415,973	13,996,209	1,597,241	△ 1,822,523	5,259,871	106,337,078
49,367,630	116,913,843	△ 67,546,213	54,772,189	8,776,014	△ 3,998,010	期間中残高増減 △ 3,998,010	期間中残高増減 225,431
△929,492	△631,805	△297,687	305,035	1,022,126	1,029,474	1,717,276	△1,503,000

※3「補てん財源」とは、収益的収支において現金の支出を必要としない減価償却費等の費用を計上していることなどにより企業内部に留保された資金で、これにより企業債の償還などによって生じる資本的収支不足額を補てんするもの

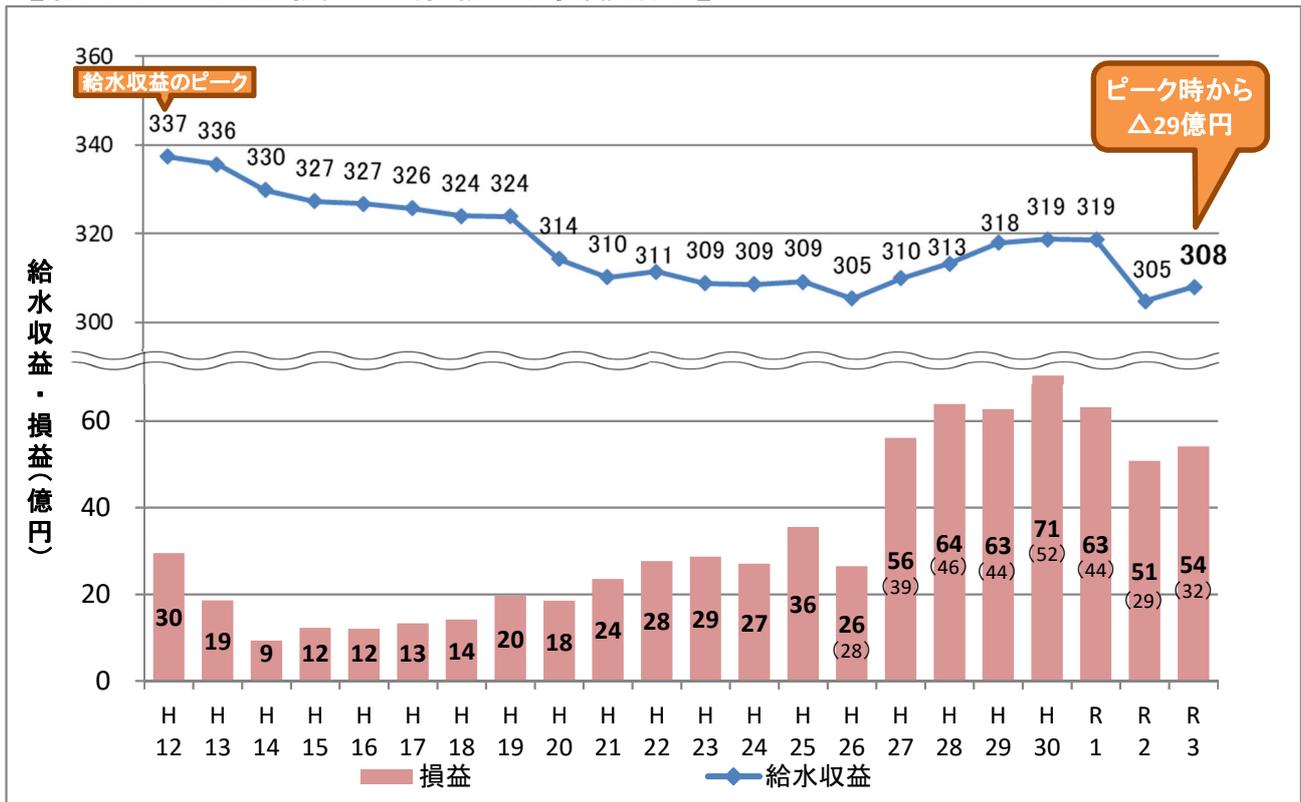
【決算ベースの収支】



【資金収支(一般会計と同様の現金会計ベース)】=収益的収支+資本的収支-非現金収支(長期前受金戻入、減価償却費等)

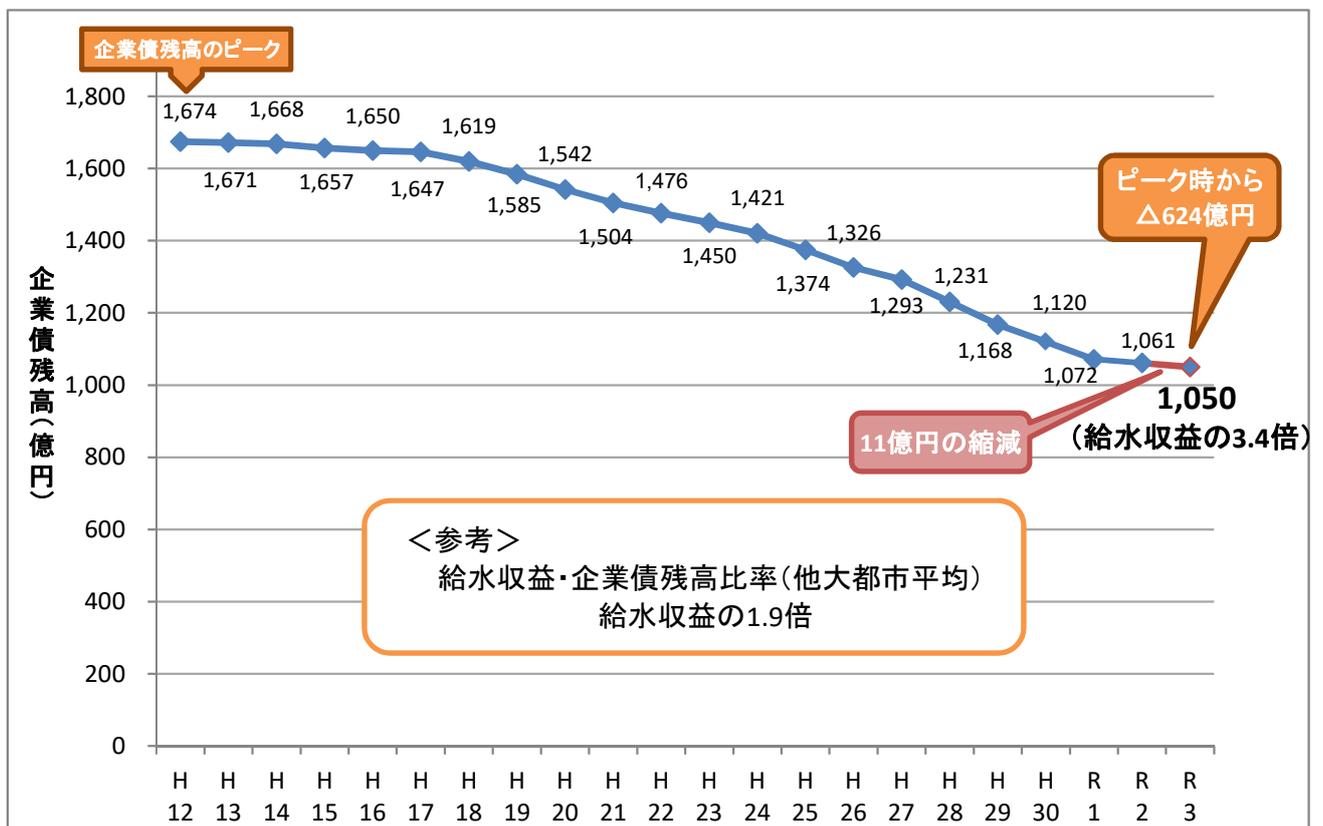


【給水収益及び損益の推移(消費税抜)】



※()内は長期前受金戻入を除いた利益

【企業債残高の推移】



Ⅱ 一般会計

1 予算の執行状況

歳入

款	項	目	最終予算額 A	決算額 B	対予算比率 B/A×100
21. 財産収入	1. 財産運用収入	2. 利子及び配当金	千円 677	千円 678	% 100.1
23. 繰入金	10. 水道水源かん養 事業基金繰入金	1. 水道水源かん養 事業基金繰入金	14,650	11,377	77.7
26. 市債	1. 市債	4. 環境債	793,000	743,000	93.7
合 計			808,327	755,055	93.4

歳出

款	項	目	最終予算額 A	決算額 B	対予算比率 B/A×100
			千円	千円	%
5. 環境費	2. 上水道費	1. 上水道費	1,381,239	1,320,217	95.6
合 計			1,381,239	1,320,217	95.6

(△印減)

翌年度繰越額 C	増 減 B - (A - C)	説 明
千円 -	千円 1	水道水源かん養事業基金から生じる利子収入
-	△ 3,273	水道水源かん養事業の財源に充当するための基金受入金
-	△ 50,000	水道事業出資金に充当する起債
-	△ 53,272	

翌年度繰越額 C	不 用 額 A - (B + C)	説 明
千円 -	千円 61,022	<p style="text-align: right;">千円</p> <p>1. 水道事業に対する負担金 69,846</p> <p style="padding-left: 20px;">簡易水道事業に対する負担金 69,846</p> <p>2. 水道事業に対する補助金 72,325</p> <p style="padding-left: 20px;">福岡地区水道企業団等に対する補助金 60,948</p> <p style="padding-left: 20px;">水道水源かん養事業に対する補助金 11,377</p> <p>3. 水道事業に対する出資金 1,177,368</p> <p>4. 水道水源かん養事業基金利子収入積立金 678</p> <p style="text-align: center;">〔 水道水源かん養事業基金残高 215,544千円 〕 (令和4年3月31日現在)</p>
-	61,022	

Ⅲ 工業用水道事業会計

1 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収入

科 目	最終予算額 A	決算額 B	対予算比率 B/A×100
1. 工業用水道事業収益	円 247,190,000	円 249,343,340	% 100.9
1. 営業収益	231,795,000	227,055,858	98.0
1. 給水収益	231,771,000	227,031,858	98.0
2. その他の営業収益	24,000	24,000	100.0
2. 営業外収益	15,395,000	22,287,482	144.8
1. 受取利息	1,000	—	—
2. 使用料	5,000	5,900	118.0
3. 消費税還付金	7,706,000	14,556,862	188.9
4. 長期前受金入	7,682,000	7,683,220	100.0
5. 雑収益	1,000	41,500	4,150

(△印減)

増 減 B - A	説 明																				
円 2,153,340																					
△ 4,739,142																					
△ 4,739,142	○業務量 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業所数</th> <th>一日平均契約水量 (m³/日)</th> <th>年間使用水量 (m³)</th> <th>給水収益 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(予 算)</td> <td>30</td> <td>8,220</td> <td>3,083,312</td> <td>231,771</td> </tr> <tr> <td>(決 算)</td> <td>31</td> <td>8,208</td> <td>3,037,839</td> <td>227,032</td> </tr> <tr> <td>(増 減)</td> <td>1</td> <td>△ 12</td> <td>△ 45,473</td> <td>△ 4,739</td> </tr> </tbody> </table>		事業所数	一日平均契約水量 (m ³ /日)	年間使用水量 (m ³)	給水収益 (千円)	(予 算)	30	8,220	3,083,312	231,771	(決 算)	31	8,208	3,037,839	227,032	(増 減)	1	△ 12	△ 45,473	△ 4,739
	事業所数	一日平均契約水量 (m ³ /日)	年間使用水量 (m ³)	給水収益 (千円)																	
(予 算)	30	8,220	3,083,312	231,771																	
(決 算)	31	8,208	3,037,839	227,032																	
(増 減)	1	△ 12	△ 45,473	△ 4,739																	
—	手数料																				
6,892,482																					
△ 1,000	一般会計貸付金利息																				
900	土地使用料																				
6,850,862	消費税及び地方消費税の還付金																				
1,220	過去の建設改良費に充てた補償金等に係る当年度収益化に伴う戻入益																				
40,500	消費税還付加算金																				

イ 支 出

科 目	最 終 予 算 額 A	決 算 額 B	対 予 算 比 率 B/A×100
	円	円	%
1. 工業用水道事業費用	197,531,000	179,022,600	90.6
1. 営業費用	187,903,000	172,453,078	91.8
1. 営業費	120,918,000	106,474,528	88.1
2. 減価償却費	65,985,000	65,978,550	100.0
3. 資産減耗費	1,000,000	—	—
2. 営業外費用	8,628,000	6,569,522	76.1
1. 支払利息	6,525,000	5,524,235	84.7
2. 企業債取扱諸費	2,103,000	1,045,287	49.7
3. 予備費	1,000,000	—	—
1. 予備費	1,000,000	—	—

不用額 A-B	説 明	
円 18,508,400	円	
15,449,922		
14,443,472	施設の維持管理及び業務運営に要した費用	
	人件費負担金（1人分）	8,287,607
	工業用水道金島浄水場包括委託料	83,490,000
	工業用水道金島浄水場スラッジ搬出委託料等	14,696,921
	○不用額の主なもの	
・修繕費	12,338,836	
・委託料	894,164	
6,450	有形固定資産減価償却費	
1,000,000	ポンプ設備除却費等	
2,058,478		
1,000,765	企業債利息	
1,057,713	企業債の借入れ及び償還に要する手数料	
1,000,000		
1,000,000		

(2) 資本的収入及び支出

ア 収入

科目	最終予算額 A	決算額 B	対予算比率 B/A×100
1. 資本的収入	円 657,120,000	円 318,320,000	% 48.4
1. 企業債	586,000,000	278,000,000	47.4
1. 企業債	586,000,000	278,000,000	47.4
2. 補助金	71,120,000	40,320,000	56.7
1. 国庫補助金	71,120,000	40,320,000	56.7

イ 支出

科目	最終予算額 A	決算額 B	対予算比率 B/A×100
1. 資本的支出	円 711,201,000	円 374,783,545	% 52.7
1. 建設改良費	666,292,000	330,874,930	49.7
1. 配水管整備費	639,035,000	311,023,386	48.7
2. 浄水場整備費	19,140,000	15,070,000	78.7
3. 設備費	2,572,000	2,571,250	100
4. 建設利息	5,545,000	2,210,294	39.9
2. 償還金	43,909,000	43,908,615	100.0
1. 企業債償還金	43,909,000	43,908,615	100.0
3. 予備費	1,000,000	—	—
1. 予備費	1,000,000	—	—

(3) 企業債の状況

(△印減)

区分	令和3年度	令和2年度	差引
起債額	千円 278,000	千円 508,000	千円 △ 230,000
償還額	43,909	49,270	△ 5,361
年度末現在高	1,903,272	1,669,181	234,091
給水収益・企業債残高比率 (企業債残高/給水収益)	9.2	7.7	1.5

(△印減)

翌年度繰越額 C	増 減 B - (A - C)	説 明
円 209,000,000	△ 円 129,800,000	
209,000,000	△ 99,000,000	
209,000,000	△ 99,000,000	配水管整備費等充当債
-	△ 30,800,000	
-	△ 30,800,000	配水管整備に対する国庫補助金

翌年度繰越額 C	不 用 額 A - (B + C)	説 明
円 228,390,000	円 108,027,455	
228,390,000	107,027,070	
228,390,000	99,621,614	基幹管路等の更新(延長 1,159m)
-	4,070,000	金島浄水場薬品注入設備更新工事実施設計委託料 等
-	750	量水器購入費
-	3,334,706	配水管整備に係る建設利息
-	385	
-	385	企業債元金償還金
-	1,000,000	
-	1,000,000	

2 繰越事業の進捗状況

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額

款	項	事業名	令和3年度	
			予算計上額	支払義務発生額
			A	B
1. 資本的支出	1. 建設改良費	配水管 整備事業	千円 228,944	千円 553

予 算 執 行 状 況		令和3年度からの繰越額の 執行状況 (令和4年8月末現在)		備 考
令和4年度への 繰越額 C	不 用 額 A-(B+C)=D	支 出 負 担 行 為 額 E	執 行 率 E/C×100	
千円 228,390	千円 1	千円 202,351	% 88.6	○繰越の説明 関係者との協議に日時を要した こと等により、年度内に完了し ないため。 ○今後の進捗見通し 令和4年10月31日事業完了予定

3 給水状況等

(1) 業務量

(△印減)

区 分	令 和 3 年 度	令 和 2 年 度	差 引	
			増 減	比 率
給 水 事 業 所 数	事業所 31	事業所 30	事業所 1	% 3.3
年 間 総 使 用 水 量	m ³ 3,037,839	m ³ 3,170,385	m ³ △ 132,546	△ 4.2
一 日 平 均 契 約 水 量	m ³ 8,208	m ³ 8,496	m ³ △ 288	△ 3.4

(2) 水道料金内訳 (対前年度決算比較)

区 分	令 和 3 年 度					令 和 2		
	事業所数	使用水量		金 額		事業所数	使用水量	
		m ³	構成比	円	%		m ³	構成比
合 計	事業所	m ³	%	円	%	事業所	m ³	%
	31	3,037,839	100.0	206,392,620	100.0	30	3,170,385	100.0
※1 基本料金	(31)	2,995,920	98.6	197,730,720	95.8	(30)	3,101,004	97.8
※2 超過料金	(16)	41,919	1.4	4,191,900	2.0	(14)	69,381	2.2
※3 メーター 使用料金	(31)	—	—	4,470,000	2.2	(30)	—	—

※金額の上段の〈〉は、消費税抜き金額

※金額の下段は、消費税込み金額

※1「基本料金」は、基本使用水量（契約水量）に基づき算定した料金で、基本使用水量1m³につき66円（消費税抜き）

※2「超過料金」は、基本使用水量を超えて使用した場合の料金で、超過使用水量1m³につき100円（消費税抜き）

※3「メーター使用料金」は、メーターの使用に伴う料金で、メーターの口径ごとに算定

【メーター使用料金（1個あたり月額：消費税抜き）：75mm以下 11,500円、100mm 12,000円、150mm 14,000円、200mm 16,000円】

(△印減)

年 度		差 引 増 減					
金 額		事業所数		使用水量		金 額	
	構成比		伸 率		伸 率		伸 率
円	%	事業所	%	m ³	%	円	%
< 215,984,364 >	< 100.0 >					< △ 9,591,744 >	< △ 4.4 >
237,582,768	100.0	1	3.3	△ 132,546	△ 4.2	△ 10,550,910	△ 4.4
< 204,666,264 >	< 94.8 >					< △ 6,935,544 >	< △ 3.4 >
225,132,858	94.8	(1)	3.3	△ 105,084	△ 3.4	△ 7,629,090	△ 3.4
< 6,938,100 >	< 3.2 >					< △ 2,746,200 >	< △ 39.6 >
7,631,910	3.2	(2)	14.3	△ 27,462	△ 39.6	△ 3,020,820	△ 39.6
< 4,380,000 >	< 2.0 >					< 90,000 >	< 2.1 >
4,818,000	2.0	(1)	3.3	—	—	99,000	2.1

4 工業用水道事業の財政状況

財政収支計画（令和3～6年度）

（消費税抜、単位：千円）

年度	収 益 的 収 入			支 出	単 年 度 損 益	※2 利 益 分 処	累 積 損 益	
	給水収益※1	その他	計					
	令和2年度 最終予算	215,422	12,309	227,731	201,903	25,828	—	482,788
令和3～6年度	令和3年度 (A)	206,321	12,093	218,414	188,655	29,759	—	512,547
	令和4年度	198,226	36,972	235,198	278,747	△ 43,549	—	468,998
	令和5年度	198,747	15,547	214,294	363,220	△ 148,926	—	320,072
	令和6年度	198,226	15,119	213,345	319,864	△106,519	—	213,553
	4か年計	801,520	79,731	881,251	1,150,486	△ 269,235	—	期間中残高増減 △269,235

財政収支見込（令和3～6年度）

（消費税抜、単位：千円）

年度	収 益 的 収 入			支 出	単 年 度 損 益	※2 利 益 分 処	累 積 損 益	
	給水収益※1	その他	計					
	令和2年度 決算	211,605	12,117	223,722	164,668	59,054	—	516,014
令和3～6年度	令和3年度 決算 (B)	201,922	12,225	214,147	170,017	44,130	—	560,144
	令和4年度 予算	204,835	12,237	217,072	251,503	△ 34,431	—	525,713
	令和5年度 計画	198,747	15,547	214,294	363,220	△ 148,926	—	376,787
	令和6年度 計画	198,226	15,119	213,345	319,864	△106,519	—	270,268
	4か年計	803,730	55,128	858,858	1,104,604	△ 245,746	—	期間中残高増減 △245,746
(令和3年度決算) (令和3年度計画) 差 引 (B) - (A)	△ 4,399	132	△ 4,267	△ 18,638	14,371	—	47,597	

※1 給水収益はメーター使用料を除く。

※2 「利益処分」額には、平成26年度からの公営企業会計基準の適用に伴い、未処分利益剰余金に再計上することとなった、企業債の償還財源として使用した減債積立金取崩額は含めていない。
なお、平成29年度以降の単年度損益は、資金確保のため、利益処分を行わず累積損益に積み上げている。

(消費税込、単位:千円) (単位:千円)

資 本 的 収 支			補 て ん 財 源 ※ 4		単年度資金 過不足額	累積資金 過不足額	企 業 債 高
収 入	支 出	資本的収支 過不足額	損益勘定 留保資金等	単年度損益 (長期前受金戻入除く)			
1,025,684	1,094,528	△ 68,844	135,365	17,930	84,451	439,216	2,054,181
247,800	301,110	△ 53,310	86,885	22,077	55,652	494,868	2,227,272
654,100	705,477	△ 51,377	183,194	△ 76,302	55,515	550,383	2,810,480
81,000	221,138	△ 140,138	152,866	△ 160,254	△ 147,526	402,857	2,772,598
—	93,640	△ 93,640	123,188	△ 117,419	△ 87,871	314,986	2,735,835
982,900	1,321,365	△ 338,465	546,133	△ 331,898	△ 124,230	期間中残高増減 △ 124,230	期間中残高増減 681,654

(消費税込、単位:千円) (単位:千円)

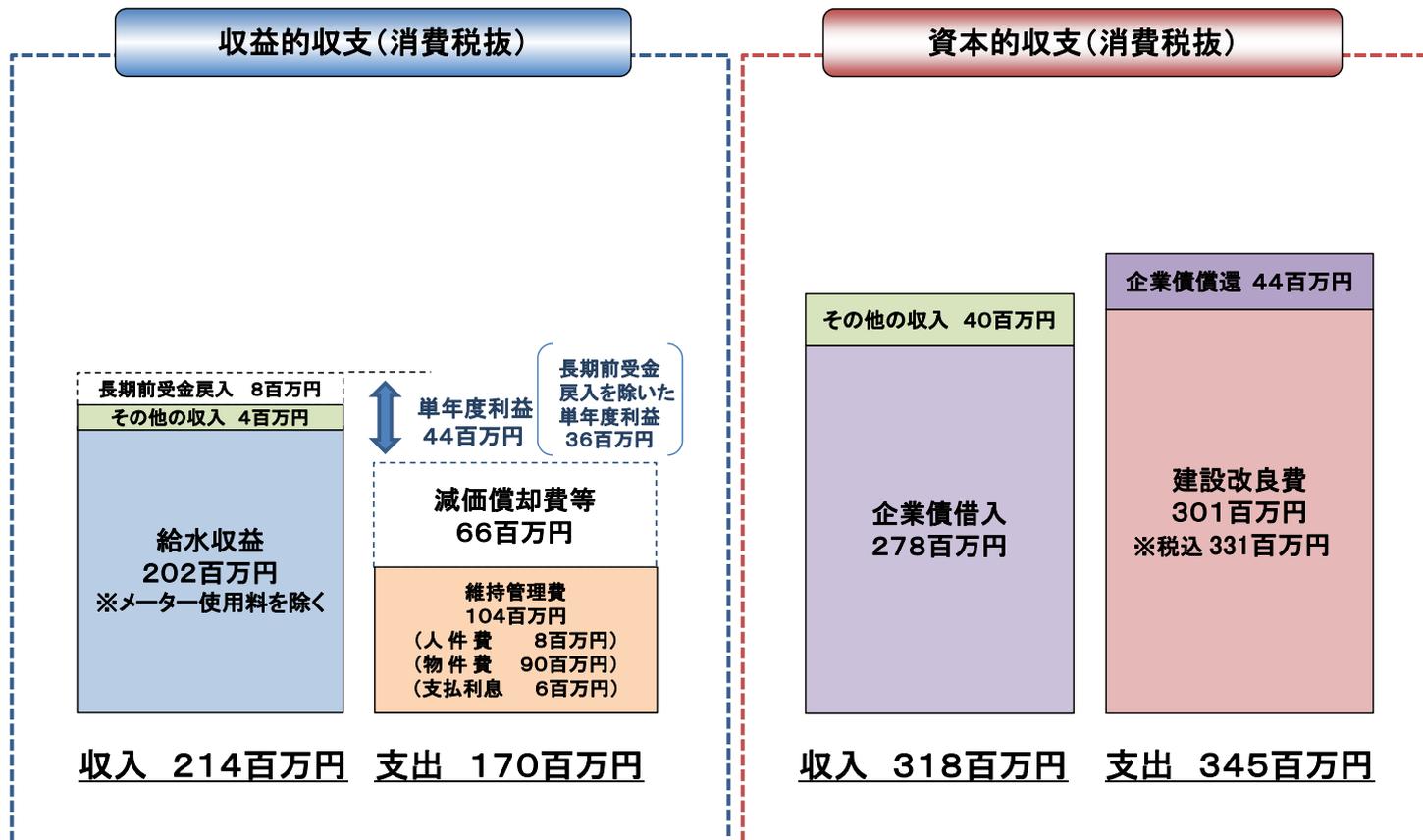
資 本 的 収 支			補 て ん 財 源 ※ 4		単年度資金 過不足額	累積資金 過不足額	企 業 債 高
※3 収 入	※3 支 出	資本的収支 過不足額	損益勘定 留保資金等	単年度損益 (長期前受金戻入除く)			
600,364	676,208	△ 75,844	114,713	51,346	90,215	444,980	1,669,181
318,320	374,784	△ 56,464	73,551	36,447	53,534	498,514	1,903,272
853,100	927,429	△ 74,329	138,208	△ 42,113	21,766	520,280	2,645,480
81,000	221,138	△ 140,138	152,866	△ 160,254	△ 147,526	372,754	2,607,598
—	93,640	△ 93,640	123,188	△ 117,419	△ 87,871	284,883	2,570,835
1,252,420	1,616,991	△ 364,571	487,813	△ 283,339	△ 160,097	期間中残高増減 △ 160,097	期間中残高増減 901,654
70,520	73,674	△ 3,154	△ 13,334	14,370	△ 2,118	3,646	△ 324,000

※3 令和4年度予算の資本的収支には、令和3年度からの繰越額を含む。

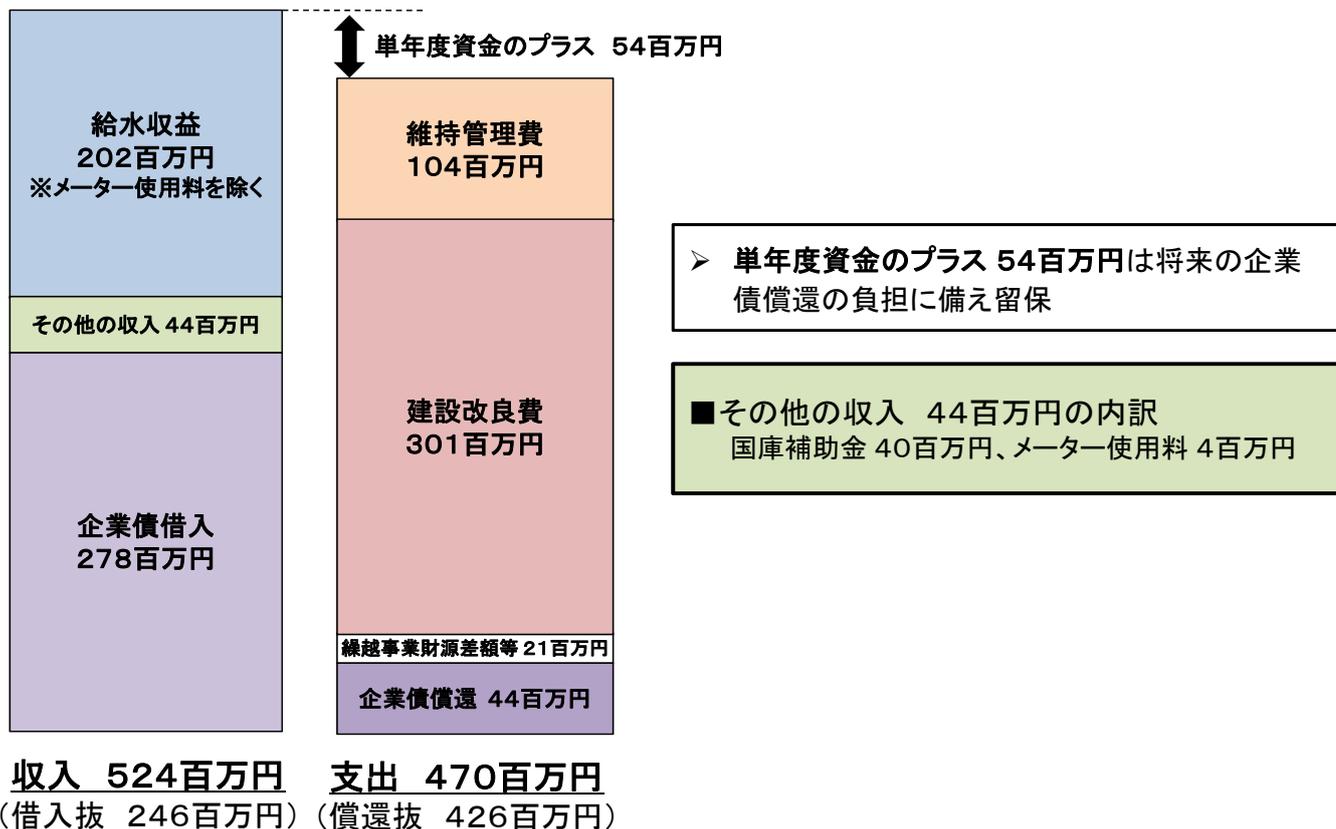
※4 「補てん財源」とは、収益的収支において現金の支出を必要としない減価償却費等の費用を計上していることなどにより企業内部に留保された資金で、これにより企業債の償還などによって生じる資本的収支不足額を補てんするもの

《参考》工業用水道事業の財政状況（図解）

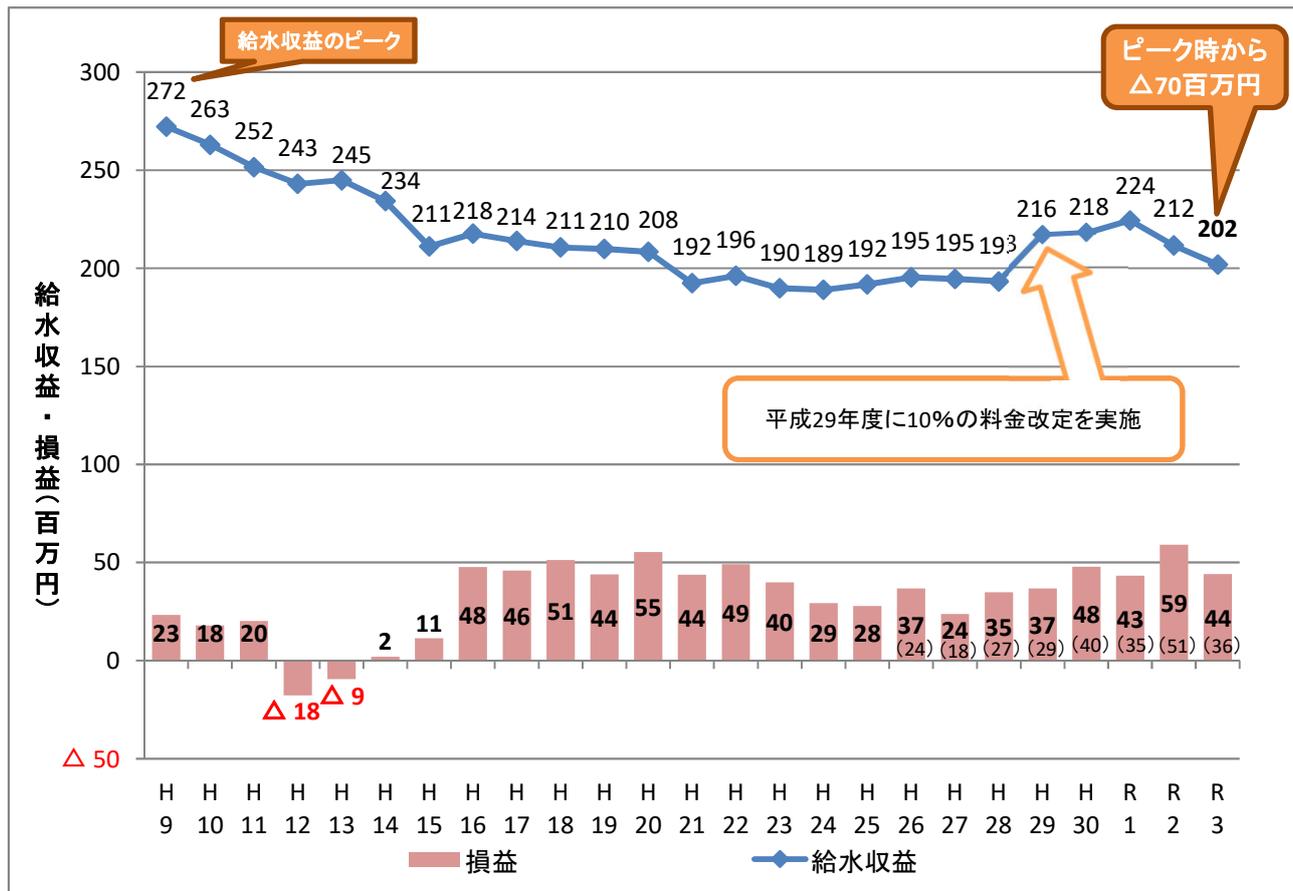
【決算ベースの収支】



【資金収支（一般会計と同様の現金会計ベース）】 = 収益的収支 + 資本的収支 - 非現金収支（長期前受金戻入、減価償却費等）等

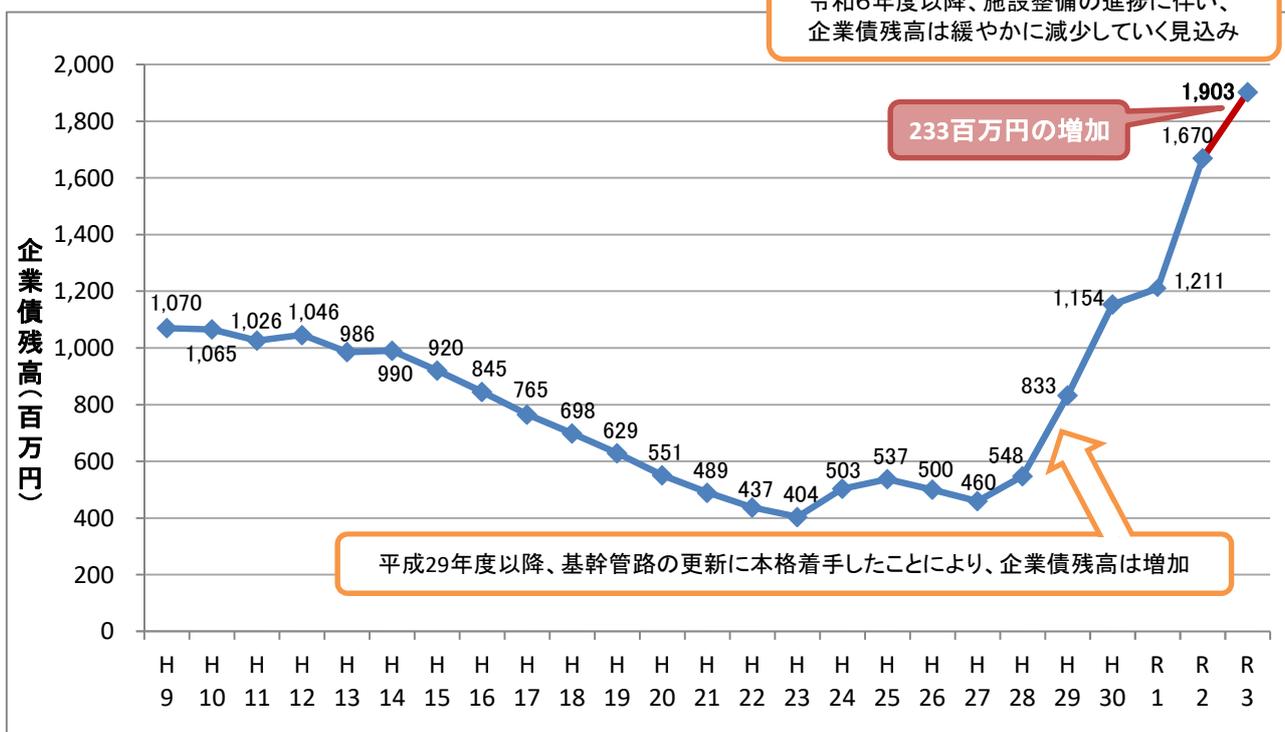


【給水収益及び損益の推移(消費税抜)】



※()内は長期前受金戻入を除いた利益
 ※給水収益は、メーター使用料を除く。

【企業債残高の推移】



IV 利益の処分（議案）

議案第144号

令和3年度福岡市水道事業会計利益の処分について

令和3年度福岡市水道事業会計の利益を次のように処分する。

円

1	当年度未処分利益剰余金	8,247,550,882
2	利益剰余金処分額	
	資 本 金	5,050,454,483

- **令和3年度長期前受金戻入** 2,213,420,465 円
令和3年度の減価償却費に対応した長期前受金相当の利益剰余金について、資本金に組み入れるもの。
- **減債積立金取崩額（令和2年度の積立）** 2,837,034,018 円
減債積立金の令和3年度取崩額について、資本金に組み入れるもの。

減 債 積 立 金 3,197,096,399

- **令和3年度利益（長期前受金戻入は控除）** 3,197,096,399 円
令和3年度純利益から長期前受金相当額を控除した利益剰余金について、減債積立金に積み立てるもの。

3 翌年度繰越利益剰余金 0

V 財務諸表

1 水道事業会計の財務諸表

令和3年度 福岡市水道事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 円)

1	営業収益			
(1)	給水収益	30,804,464,197		
(2)	小呂島地区簡易水道事業収益	2,273,713		
(3)	その他の営業収益	<u>205,948,991</u>	31,012,686,901	
2	営業費用			
(1)	原水及び浄水費	9,571,464,586		
(2)	配水費	1,931,576,541		
(3)	給水費	1,649,940,929		
(4)	量水器費	492,816,650		
(5)	業務費	1,916,639,720		
(6)	総係費	1,384,501,515		
(7)	小呂島地区簡易水道事業費	36,372,370		
(8)	減価償却費	11,024,923,627		
(9)	資産減耗費	<u>289,595,222</u>	<u>28,297,831,160</u>	
	営業利益			2,714,855,741
3	営業外収益			
(1)	受取利息	4,825,339		
(2)	補助金	78,666,755		
(3)	負担金	1,798,311,245		
(4)	使用料	80,025,135		
(5)	補償金	97,098,557		
(6)	長期前受金戻入	2,213,420,465		
(7)	雑収益	<u>94,237,506</u>	4,366,585,002	
4	営業外費用			
(1)	支払利息	1,640,737,851		
(2)	企業債取扱諸費	7,224,506		
(3)	雑支出	<u>21,253,910</u>	<u>1,669,216,267</u>	<u>2,697,368,735</u>
	経常利益			5,412,224,476

5	特	別	利	益											
(1)	過	年	度	損	益	修正益	<u>15,876,731</u> 15,876,731								
6	特	別	損	失											
(1)	固	定	資	産	売	却	損 175,279								
(2)	過	年	度	損	益	修正損	<u>17,409,064</u> <u>17,584,343</u> △ 1,707,612								
	当	年	度	純	利	益	5,410,516,864								
	前	年	度	繰	越	利	益	剰	余	金	0				
	そ	の	他	未	処	分	利	益	剰	余	金	変	動	額	<u>2,837,034,018</u>
	当	年	度	未	処	分	利	益	剰	余	金	<u><u>8,247,550,882</u></u>			

令和3年度福岡市

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

	資本金	剰余		
		資本剰余		
		受贈財産 評価額	国庫補助金	その他資本 剰余金
前年度末残高	円 189,737,143,816	円 39,569,107	円 2,296,763,781	円 285,721,463
前年度処分額	6,638,664,653	-	-	-
議会の議決による処分額	6,638,664,653	-	-	-
資本金に組入	6,638,664,653	-	-	-
減債積立金の積立	-	-	-	-
処分後残高	196,375,808,469	39,569,107	2,296,763,781	285,721,463
当年度変動額	1,177,368,015	173,880	-	-
出資金の受入	1,177,368,015	-	-	-
減債積立金の取崩	-	-	-	-
資本剰余金の受入	-	173,880	-	-
当年度純利益	-	-	-	-
当年度末残高	197,553,176,484	39,742,987	2,296,763,781	285,721,463

令和3年度福岡市水道事業剰余金処分計算書

	資本金	資本剰余金	未処分利益 剰余金
当年度末残高	円 197,553,176,484	円 2,622,228,231	円 8,247,550,882
議会の議決による処分額	5,050,454,483	-	△ 8,247,550,882
資本金に組入	5,050,454,483	-	△ 5,050,454,483
減債積立金の積立	-	-	△ 3,197,096,399
処分後残高	202,603,630,967	2,622,228,231	(繰越利益剰余金) -

水道事業剰余金計算書

余 金				資本合計
金	利 益	剰 余	金	
資本剰余金 合計	減債積立金	未処分利益 剰余金	利益剰余金 合計	
円 2,622,054,351	円 —	円 9,475,698,671	円 9,475,698,671	円 201,834,896,838
—	2,837,034,018	△ 9,475,698,671	△ 6,638,664,653	—
—	2,837,034,018	△ 9,475,698,671	△ 6,638,664,653	—
—	—	△ 6,638,664,653	△ 6,638,664,653	—
—	2,837,034,018	△ 2,837,034,018	—	—
2,622,054,351	2,837,034,018	(繰越利益剰余金) —	2,837,034,018	201,834,896,838
173,880	△ 2,837,034,018	8,247,550,882	5,410,516,864	6,588,058,759
—	—	—	—	1,177,368,015
—	△ 2,837,034,018	2,837,034,018	—	—
173,880	—	—	—	173,880
—	—	5,410,516,864	5,410,516,864	5,410,516,864
2,622,228,231	—	(当年度未処分利益剰余金) 8,247,550,882	8,247,550,882	208,422,955,597

令和3年度 福岡市水道事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

ア	土 地	33,645,274,595	
イ	建 物	12,948,318,525	
	減価償却累計額	<u>△ 7,199,930,189</u>	5,748,388,336
ウ	構 築 物	440,920,462,005	
	減価償却累計額	<u>△196,937,706,062</u>	243,982,755,943
エ	機 械 及 び 装 置	47,052,155,803	
	減価償却累計額	<u>△ 32,349,684,850</u>	14,702,470,953
オ	車 両 運 搬 具	53,412,501	
	減価償却累計額	<u>△ 30,928,648</u>	22,483,853
カ	船 舶	10,485,174	
	減価償却累計額	<u>△ 5,213,331</u>	5,271,843
キ	工 具, 器 具 及 び 備 品	707,088,984	
	減価償却累計額	<u>△ 464,437,110</u>	242,651,874
ク	リ ー ス 資 産	790,406,972	
	減価償却累計額	<u>△ 506,191,900</u>	284,215,072
ケ	建 設 仮 勘 定	10,612,647,223	
コ	そ の 他 有 形 固 定 資 産	<u>1,599,035,403</u>	

有形固定資産合計 310,845,195,095

(2) 無形固定資産

ア	ダ ム 使 用 権	1,098,433,553	
イ	水 利 権	18,300,024,691	
ウ	施 設 利 用 権	<u>88,457,430</u>	

無形固定資産合計 19,486,915,674

(3) 投資その他の資産

ア	出 資 金	<u>35,235,143,000</u>	
---	-------	-----------------------	--

投資その他の資産合計 35,235,143,000

固定資産合計 365,567,253,769

2 流動資産

(1)	現 金 預 金	17,043,482,033	
(2)	未 収 金	4,513,282,231	
	貸 倒 引 当 金	<u>△ 74,259,450</u>	4,439,022,781
(3)	貯 蔵 品	357,990,326	
(4)	前 払 金	1,097,530,000	
(5)	そ の 他 流 動 資 産	<u>10,000,000</u>	

流動資産合計 22,948,025,140

資 産 合 計 388,515,278,909

負 債 の 部

3 固 定 負 債			
(1) 企 業 債		97,201,224,001	
(2) リ ー ス 債 務		141,188,774	
(3) 引 当 金			
ア 退職給付引当金	3,914,936,028	<u>3,914,936,028</u>	
固 定 負 債 合 計			101,257,348,803
4 流 動 負 債			
(1) 企 業 債		7,771,113,146	
(2) リ ー ス 債 務		169,440,575	
(3) 引 当 金			
ア 退職給付引当金	174,175,228		
イ 賞与引当金	<u>301,998,000</u>	476,173,228	
(4) 未 払 金		9,577,849,963	
(5) 前 受 金		85,711,740	
(6) 預 り 金		1,451,428,372	
(7) その他流動負債		<u>10,000,000</u>	
流 動 負 債 合 計			19,541,717,024
5 繰 延 収 益			
(1) 長 期 前 受 金			
ア 受贈財産評価額	17,728,246,816		
収 益 化 累 計 額	<u>△ 7,392,819,553</u>	10,335,427,263	
イ 加 入 金	30,127,712,799		
収 益 化 累 計 額	<u>△12,576,248,064</u>	17,551,464,735	
ウ 工 事 負 担 金	9,645,498,747		
収 益 化 累 計 額	<u>△ 5,165,255,445</u>	4,480,243,302	
エ 国 庫 補 助 金	31,989,359,061		
収 益 化 累 計 額	<u>△11,794,462,613</u>	20,194,896,448	
オ その他長期前受金	9,222,698,673		
収 益 化 累 計 額	<u>△ 4,374,593,057</u>	4,848,105,616	
(2) 建設仮勘定長期前受金		<u>1,883,120,121</u>	
繰 延 収 益 合 計			<u>59,293,257,485</u>
負 債 合 計			180,092,323,312

資 本 の 部

6 資 本 金			
(1) 資 本 金		<u>197,553,176,484</u>	
資 本 金 合 計			197,553,176,484
7 剰 余 金			
(1) 資 本 剰 余 金			
ア 受贈財産評価額	39,742,987		
イ 国 庫 補 助 金	2,296,763,781		
ウ その他資本剰余金	<u>285,721,463</u>		
資 本 剰 余 金 合 計		2,622,228,231	
(2) 利 益 剰 余 金			
ア 当年度未処分利益剰余金	<u>8,247,550,882</u>	8,247,550,882	
利 益 剰 余 金 合 計			<u>10,869,779,113</u>
剰 余 金 合 計			<u>208,422,955,597</u>
資 本 合 計			<u>388,515,278,909</u>
負 債 資 本 合 計			

2 工業用水道事業会計の財務諸表

令和3年度 福岡市工業用水道事業損益計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 円)

1 営業収益			
(1) 給水収益	206,392,620		
(2) その他の営業収益	<u>24,000</u>	206,416,620	
2 営業費用			
(1) 営業費	97,562,150		
(2) 減価償却費	<u>65,978,550</u>	<u>163,540,700</u>	
営業利益			42,875,920
3 営業外収益			
(1) 使用料	5,900		
(2) 長期前受金戻入	7,683,220		
(3) 雑収益	<u>41,563</u>	7,730,683	
4 営業外費用			
(1) 支払利息	5,524,235		
(2) 企業債取扱諸費	950,263		
(3) 雑支出	<u>1,998</u>	<u>6,476,496</u>	<u>1,254,187</u>
経常利益			44,130,107
当年度純利益			44,130,107
前年度繰越利益剰余金			516,013,917
当年度未処分利益剰余金			<u>560,144,024</u>

令和3年度 福岡市工業用水道事業剰余金計算書

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

	資本金	剰余金		資本合計
		利益剰余金		
		未処分利益剰余金	利益剰余金合計	
前年度末残高	円 578,167,113	円 516,013,917	円 516,013,917	円 1,094,181,030
前年度処分額	—	—	—	—
議会の議決による処分額	—	—	—	—
資本金に組入	—	—	—	—
処分後残高	578,167,113	(繰越利益剰余金) 516,013,917	516,013,917	1,094,181,030
当年度変動額	—	44,130,107	44,130,107	44,130,107
当年度純利益	—	44,130,107	44,130,107	44,130,107
当年度末残高	578,167,113	(当年度未処分利益剰余金) 560,144,024	560,144,024	1,138,311,137

令和3年度 福岡市工業用水道事業剰余金処分計算書

	資本金	未処分利益剰余金
当年度末残高	円 578,167,113	円 560,144,024
議会の議決による処分額	—	—
処分後残高	578,167,113	(繰越利益剰余金) 560,144,024

令和3年度 福岡市工業用水道事業貸借対照表

(令和4年3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部

1 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

ア	土 地		52,411,049	
イ	建 物	31,791,397		
	減価償却累計額	<u>△ 22,657,677</u>	9,133,720	
ウ	構 築 物	2,504,290,003		
	減価償却累計額	<u>△ 1,345,503,551</u>	1,158,786,452	
エ	機 械 及 び 装 置	632,658,564		
	減価償却累計額	<u>△ 436,269,343</u>	196,389,221	
オ	工 具, 器 具 及 び 備 品	1,713,000		
	減価償却累計額	<u>△ 1,627,350</u>	85,650	
カ	建 設 仮 勘 定		<u>1,415,098,604</u>	
	有形固定資産合計			2,831,904,696

(2) 投資その他の資産

ア	出 資 金		<u>84,000</u>	
	投資その他の資産合計			<u>84,000</u>
	固定資産合計			2,831,988,696

2 流 動 資 産

(1)	現 金 預 金		400,270,875	
(2)	未 収 金		80,137,147	
(3)	前 払 金		74,200,000	
	流動資産合計			<u>554,608,022</u>
	資 産 合 計			<u><u>3,386,596,718</u></u>

負債の部

3	固定負債		
	(1) 企業債	1,862,480,703	
	固定負債合計		1,862,480,703
4	流動負債		
	(1) 企業債	40,791,694	
	(2) 未払金	36,704,261	
	流動負債合計		77,495,955
5	繰延収益		
	(1) 長期前受金		
	ア 受贈財産評価額	213,794,948	
	収益化累計額	△101,619,986	112,174,962
	イ その他長期前受金	106,516,347	
	収益化累計額	△ 48,927,841	57,588,506
	(2) 建設仮勘定長期前受金	138,545,455	
	繰延収益合計		308,308,923
	負債合計		2,248,285,581

資本の部

6	資本金		
	(1) 資本金	578,167,113	
	資本金合計		578,167,113
7	剰余金		
	(1) 利益剰余金		
	ア 当年度未処分利益剰余金	560,144,024	
	利益剰余金合計	560,144,024	
	剰余金合計		560,144,024
	資本合計		1,138,311,137
	負債資本合計		3,386,596,718

VI 参 考

1 未収金の整理状況

水道事業	科 目		令和3年度末 未 収 額	更 正 増 減
	営 業 未 収 金		千円 2,110,269	千円 △ 3,441
内 訳	未 収 給 水 収 益		2,108,301	△ 3,441
	そ の 他 営 業 未 収 金		1,968	—
業	営 業 外 未 収 金		556,862	—
	そ の 他 未 収 金		1,846,151	—
	合 計		4,513,282	△ 3,441

※ 令和3年度末の未収給水収益については、令和3年度に19,798千円の不納欠損処分を行った後の額である。

なお、不納欠損処分額のうち、 福岡市債権管理条例の規定に基づく債権放棄をしたもの 19,722,306円(6,215件)	
(内訳)	
・条例第7条第1号(破産等)に基づくもの	192,227円(74件)
・条例第7条第5号(時効期間満了)に基づくもの	19,530,079円(6,141件)

工業用水道事業	科 目		令和3年度末 未 収 額	更 正 増 減
	営 業 未 収 金		千円 25,260	千円 —
業	そ の 他 未 収 金		54,877	—
	合 計		80,137	—

(△印減)

差引未収額	令和4年7月末現在	
	収入額	残高
千円 2,106,828	千円 1,981,443	千円 125,385
2,104,860	1,979,634	125,226
1,968	1,809	159
556,862	554,416	2,446
1,846,151	1,846,151	—
4,509,841	4,382,010	127,831

差引未収額	令和4年7月末現在	
	収入額	残高
千円 25,260	千円 25,260	千円 —
54,877	40,320	14,557
80,137	65,580	14,557

2 経営指標等の推移（平成29～令和3年度）

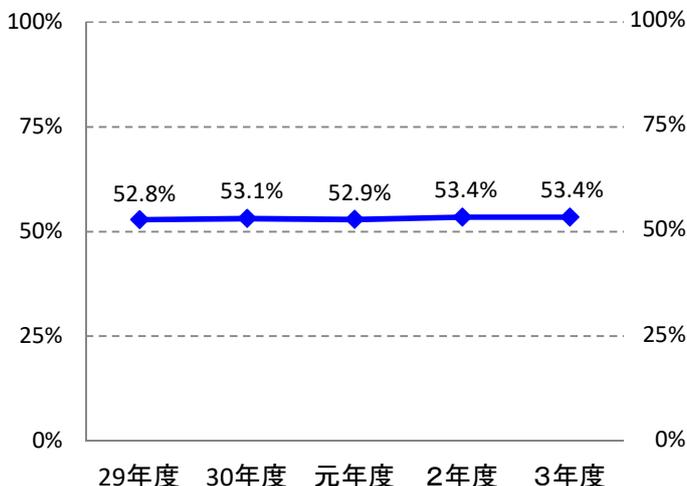
(1) 施設指標

施設利用率

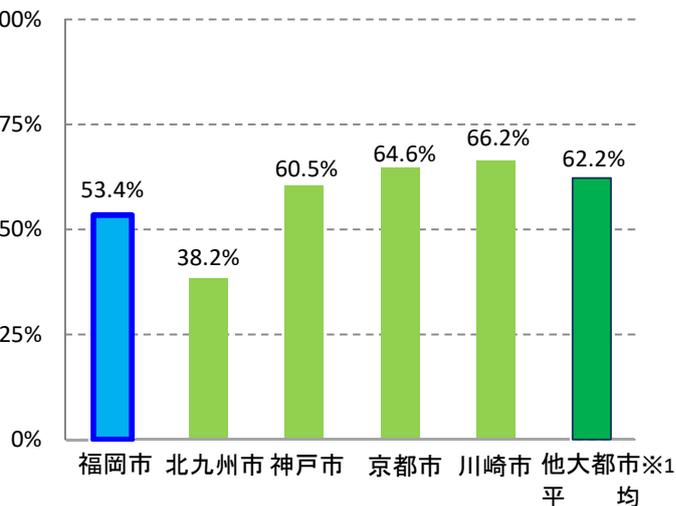
一日給水能力に対する一日平均給水量の割合により、水道施設の利用状況を示す指標です。

$$\frac{\text{一日平均給水量}}{\text{一日給水能力}} \times 100$$

施設利用率の推移



令和3年度 大都市の施設利用率



※1: 他大都市とは、千葉市・相模原市・福岡市を除く
政令指定都市17都市及び東京都

※2: グラフ記載の4都市は、福岡県内政令市の北九州市のほか、給水人口が同規模の都市を選定

(評価)

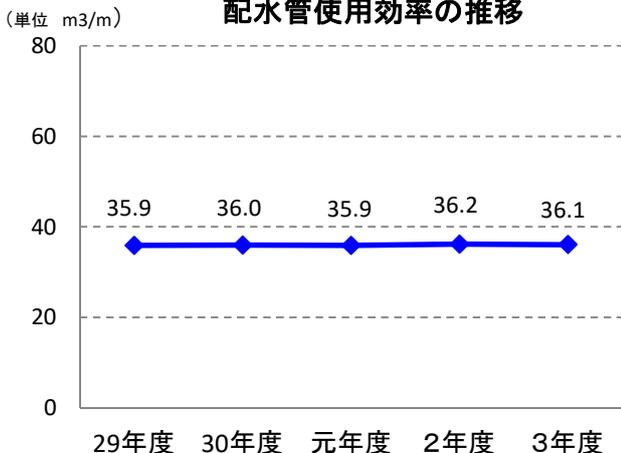
- ・当指標は、値が高いほど、効率的に施設が利用されていることを示していますが、高すぎると浄水場の清掃や施設更新時などに余力が少ないことになります。
- ・他大都市平均と比較すると低くなっていますが、現在進めている浄水場の再編により、施設規模の縮小を図ることとしており、これにより施設利用率は上昇する見込みです。

配水管 使用効率

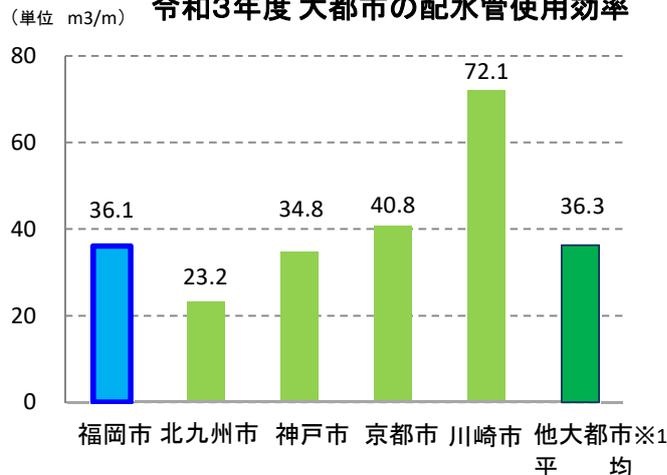
導水管・送水管・配水管延長に対する管を流れる給水量の割合により、管を効率的に使用しているかを示す指標です。

$$\frac{\text{年間総給水量}}{\text{管路延長}}$$

配水管使用効率の推移



令和3年度 大都市の配水管使用効率



(評価)

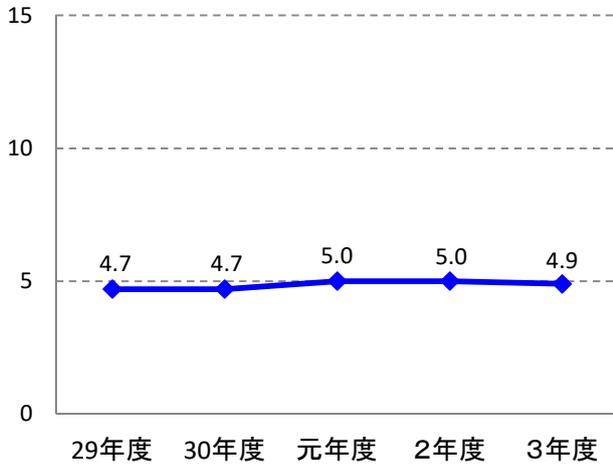
- ・当指標は、値が高いほど、管を効率的に使用していることを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると同程度となっていますが、当該指標は、都市の地理状況や人口密度、市民の節水への取組状況等によって、左右されます。

**固定資産
使用効率**

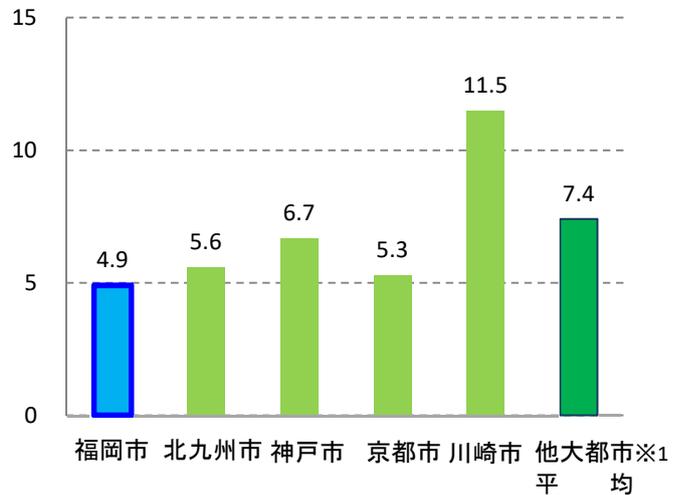
水道施設が効率的に整備、使用されているかを示す指標です。

$$\frac{\text{年間総給水量}}{\text{有形固定資産}}$$

(単位 m3/万円) **固定資産使用効率の推移**



(単位 m3/万円) **令和3年度 大都市の固定資産使用効率**



(評価)

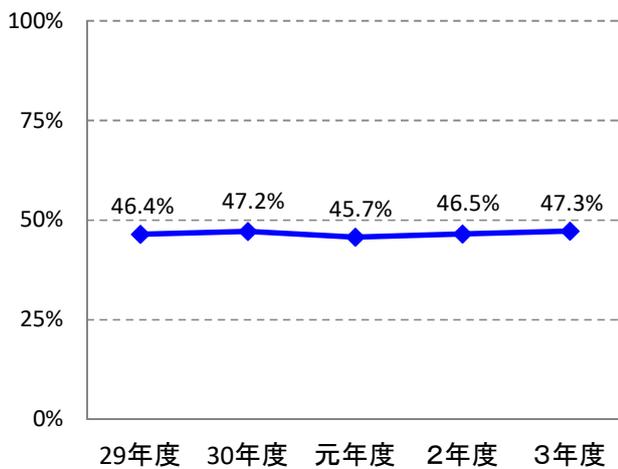
- ・当指標は、値が高いほど、効率的な施設利用が行われていることを示していますが、一方で、水道施設の更新を適切に行わずに固定資産額が減少している場合も値は高くなります。
- ・他大都市平均と比較すると低くなっていますが、福岡市が地理的に水資源に乏しく、これまでダム等の水源開発に取り組んできたことから、固定資産が多くなっているためです。

**有形固定資産
減価償却率**

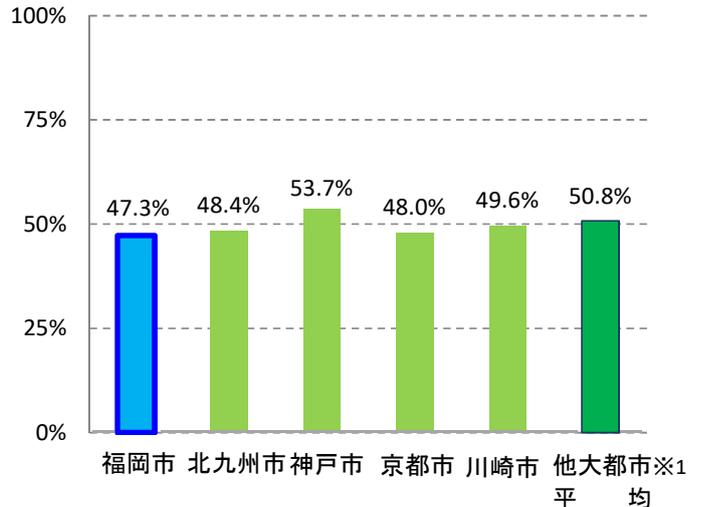
有形固定資産のうち、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるのかを示す指標です。

$$\frac{\text{有形固定資産の減価償却累計額}}{\text{有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価}} \times 100$$

有形固定資産減価償却率の推移



令和3年度 大都市の有形固定資産減価償却率



(評価)

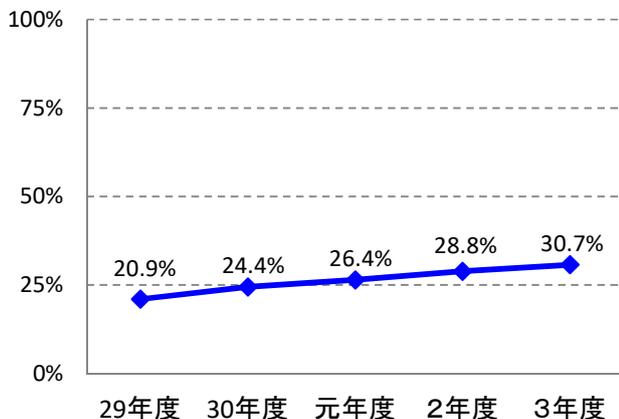
- ・当指標は、値が低いほど、水道施設の老朽化が進行していないことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると、やや低くなっており、計画的に水道施設の更新を行っていることによるものです。

管路経年化率

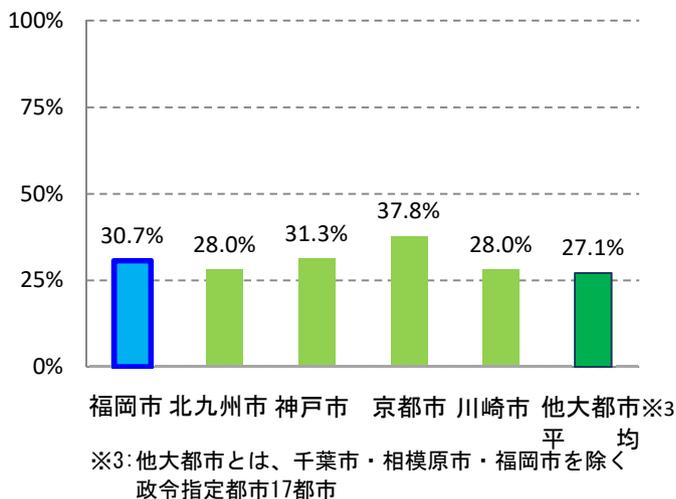
法定耐用年数を超えた管路(導送配水管)延長の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{法定耐用年数超過管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$$

管路経年化率の推移



令和3年度 大都市の管路経年化率



(評価)

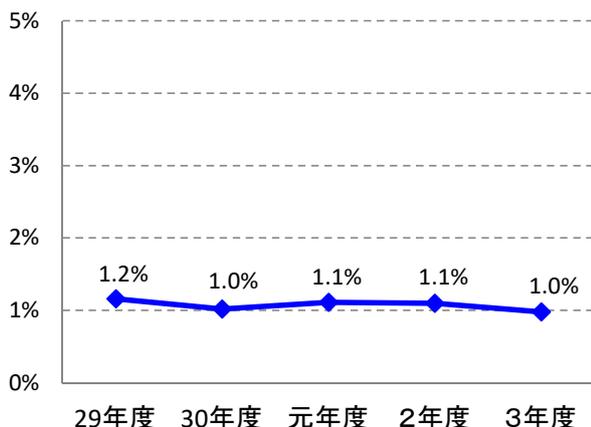
- ・当指標は、値が低いほど、法定耐用年数を超えていない管の割合が高いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると、やや高くなっていますが、管の耐用年数は、管の腐食状況や埋設環境によって、大きく異なるため、管の腐食状況等を考慮した「実質的な耐用年数」を設定し、計画的な更新を行っています。

管路更新率

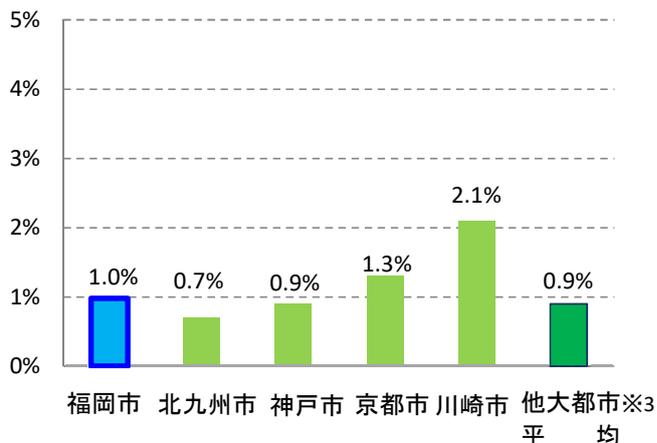
各年度に更新した管路(導送配水管)延長の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{更新管路延長}}{\text{管路延長}} \times 100$$

管路更新率の推移



令和3年度 大都市の管路更新率



(評価)

- ・当指標は、値が高いほど、当該年度に更新した管の割合が高いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると同程度となっており、今後も計画的に更新していきます。

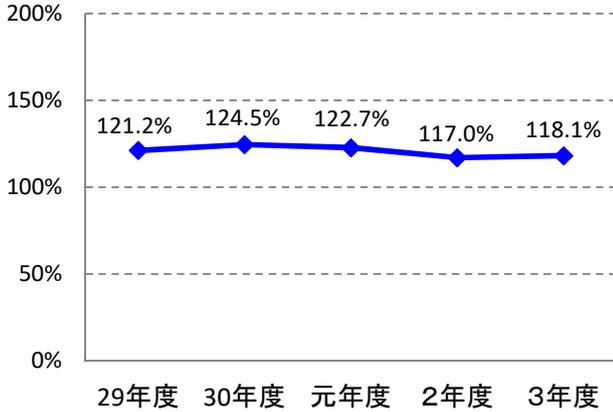
(2) 財務指標

経常収支比率

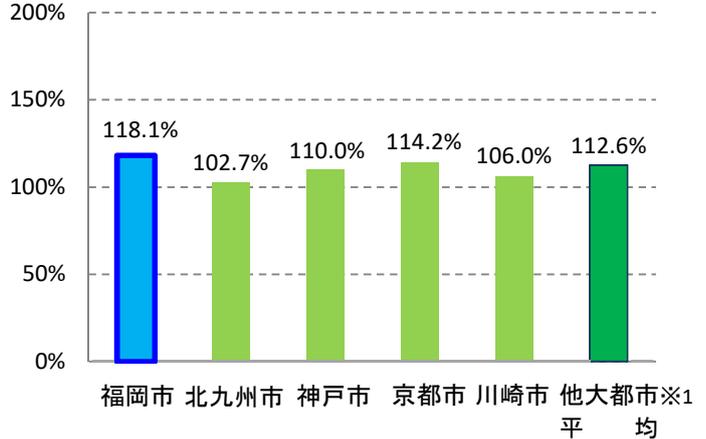
水道事業における収支のバランスを比較し、経営の安定性を示す指標です。

$$\frac{\text{経常収益 (営業収益+営業外収益)}}{\text{経常費用 (営業費用+営業外費用)}} \times 100$$

経常収支比率の推移



令和3年度 大都市の経常収支比率



(評価)

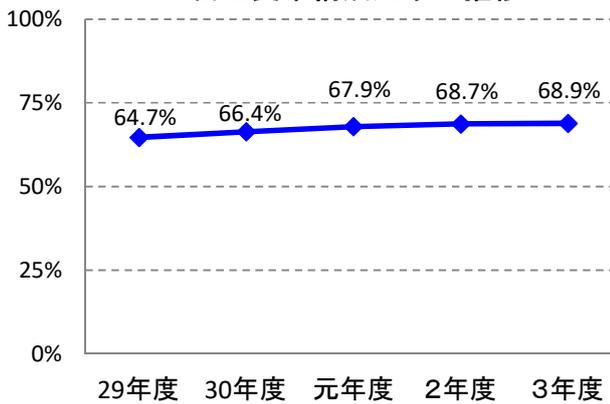
- ・当指標は、値が高いほど、経常的な利益率が高いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると高くなっており、健全な経営状況を維持しています。

自己資本構成比率

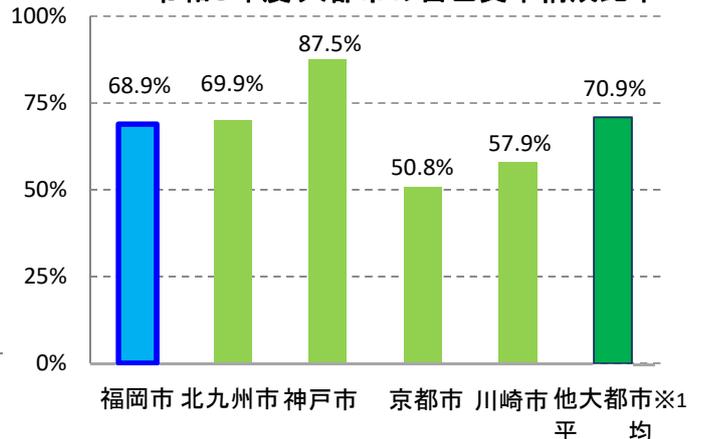
総資本に対する自己資本の占める割合を比較し、企業の安定度を示す指標です。

$$\frac{\text{資本金+剰余金+繰延収益}}{\text{負債・資本合計}} \times 100$$

自己資本構成比率の推移



令和3年度 大都市の自己資本構成比率



(評価)

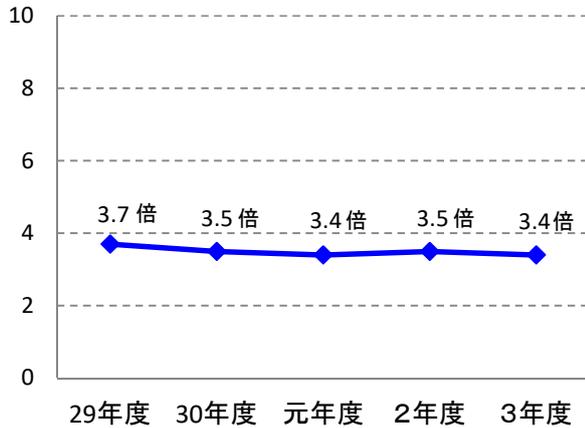
- ・当指標は、値が高いほど、総資産を借入金に頼らず自己資本により構成している割合を示しています。
- ・他大都市平均と比較すると、やや低くなっていますが、今後とも企業債残高の縮減等により、自己資本構成比率を高めていきます。

**料金収入・企業債
残高比率**

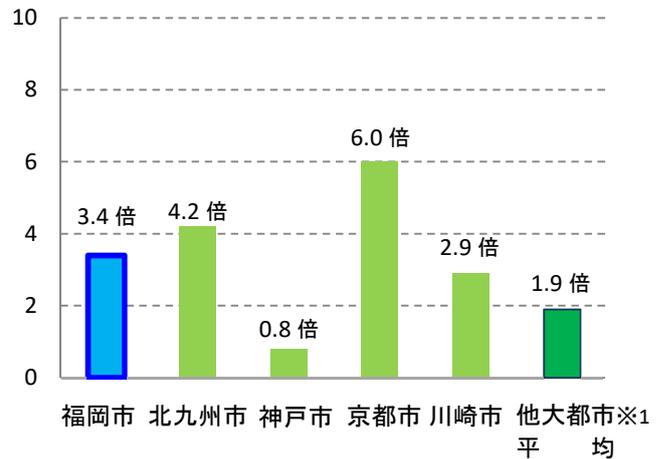
料金収入に対する企業債残高の割合により、企業債残高の相対的な大きさを示す指標です。

$$\frac{\text{企業債残高}}{\text{料金収入}}$$

料金収入・企業債残高比率の推移



**令和3年度 大都市の
料金収入・企業債残高比率**



(評価)

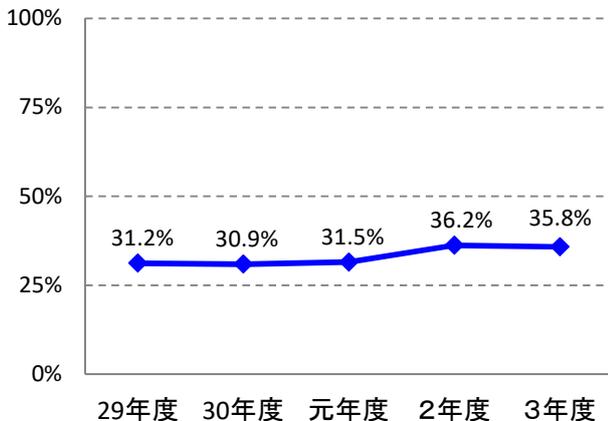
- ・当指標は、値が低いほど、今後の支払利息や企業債の償還額が小さくなり、将来の財政状況が安定することを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると高くなっていますが、地理的に水資源に恵まれず、多額の企業債を活用して水源開発を行ってきたことから、高い水準となっています。なお、近年の着実な企業債残高の縮減により減少傾向にあります。

**料金収入・減価償却費
償却費比率**

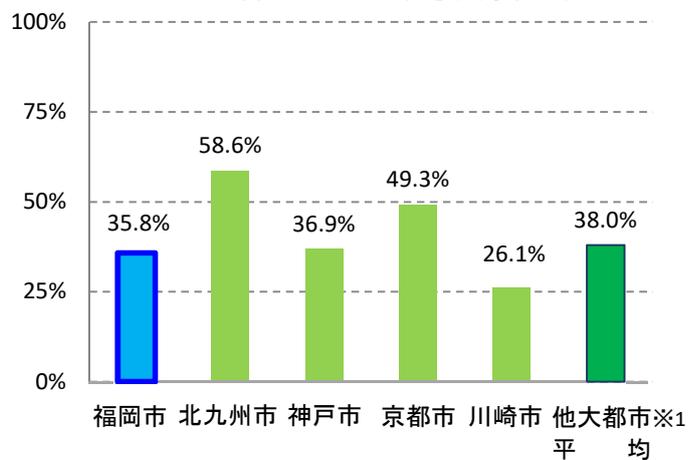
料金収入に対する減価償却費の割合により、減価償却費の相対的な大きさを示す指標です。

$$\frac{\text{減価償却費}}{\text{料金収入}} \times 100$$

料金収入・減価償却費比率の推移



**令和3年度 大都市の
料金収入・減価償却費比率**



(評価)

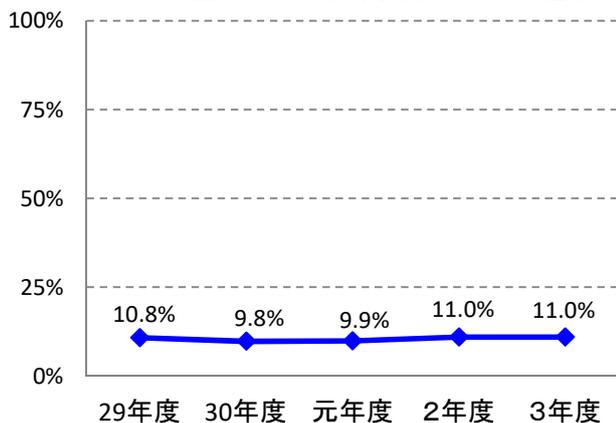
- ・当指標は、値が低いほど、資産形成の投資を行ったことにより生じる減価償却費の割合が低いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると、やや低くなっていますが、浄水場再編事業完了後の減価償却の開始により、上昇する見込みです。

料金収入・職員
給与費比率

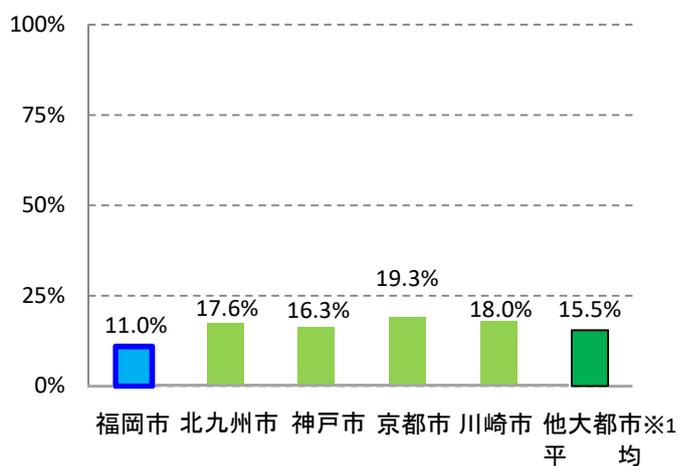
料金収入に対する職員給与費の割合により、人件費の相対的な大きさを示す指標です。

$$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$$

料金収入・職員給与費比率の推移



令和3年度大都市の
料金収入・職員給与費比率



(評価)

- ・当指標は、値が低いほど、固定費の人件費によって、財政状況が硬直化していないことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると低くなっており、効率的な組織体制の整備により、健全な財政状況を維持しています。

(3)料金指標

給水原価

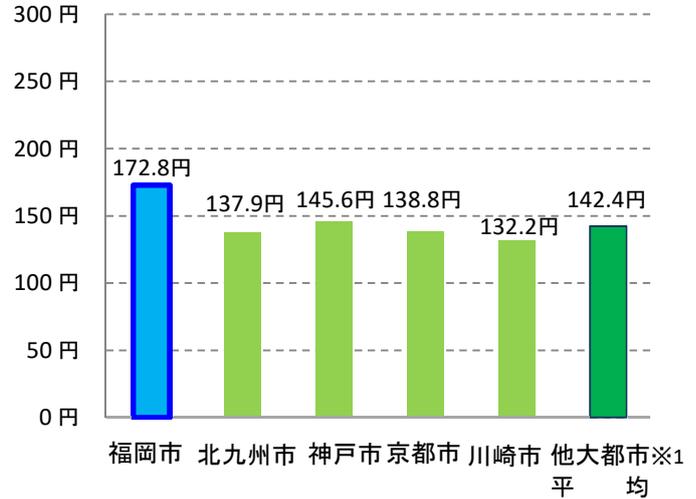
料金水量1立方メートル当たりの給水原価を示す指標です。

$$\frac{\text{総費用一関連収入}}{\text{年間総料金水量}}$$

給水原価の推移



令和3年度 大都市の給水原価



(評価)

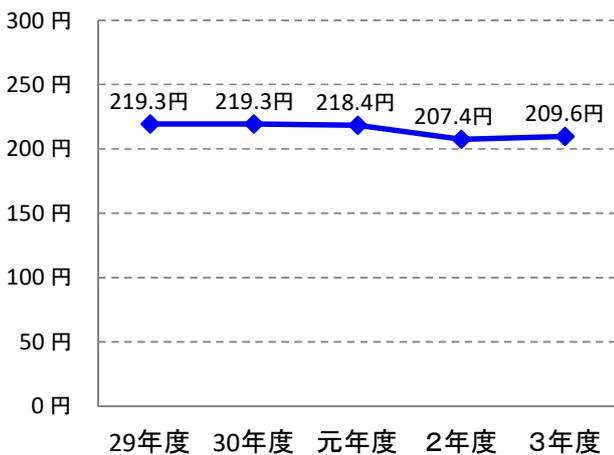
- ・当指標は、値が低いほど、給水のための原価が安いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると高くなっていますが、福岡市は、市内に一級河川がないなど、地理的に水資源に恵まれず、水源開発等に多額の投資を要しており、また、必要な水量を確保するために多くの水源を市域外に頼っていることによるものです。

供給単価

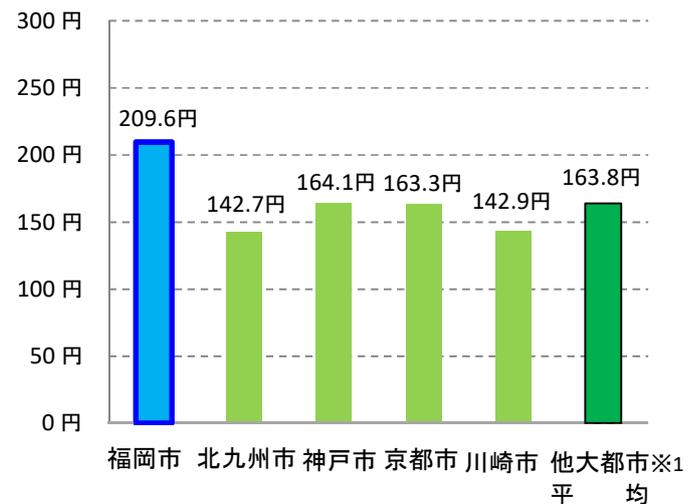
料金水量1立方メートル当たりの供給単価を示す指標です。

$$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総料金水量}}$$

供給単価の推移



令和3年度 大都市の供給単価



(評価)

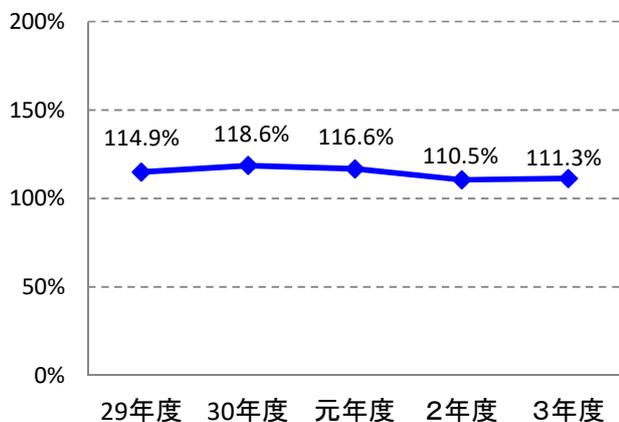
- ・当指標は、値が低いほど、水を供給するための単価が安いことを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると高くなっていますが、福岡市は、多額の企業債を活用して水源開発等に投資を行ってきており、減価償却や支払利息などの負担が大きく、給水原価が高くなっているため、それに見合う料金水準としているものです。

料金回収率

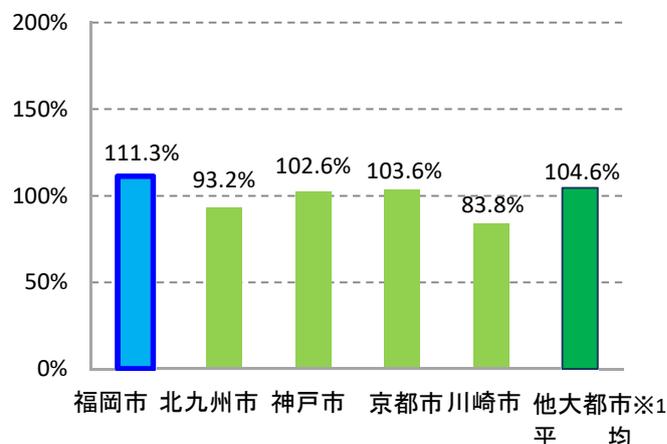
給水に係る費用が、どの程度料金収入で賄えているかを示す指標です。

$$\frac{\text{料金収入}}{\text{経常費用－長期前受金戻入等}} \times 100$$

料金回収率の推移



令和3年度 大都市の料金回収率



(評価)

- ・当指標は、値が高いほど、事業に必要な費用を料金収入で賄えていることを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると、やや高くなっており、利益を着実に確保することにより、企業債償還や施設更新を行うことができます。

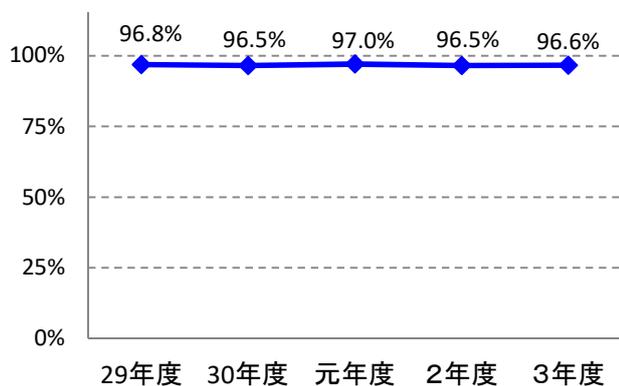
(4) 配水効率

有収率

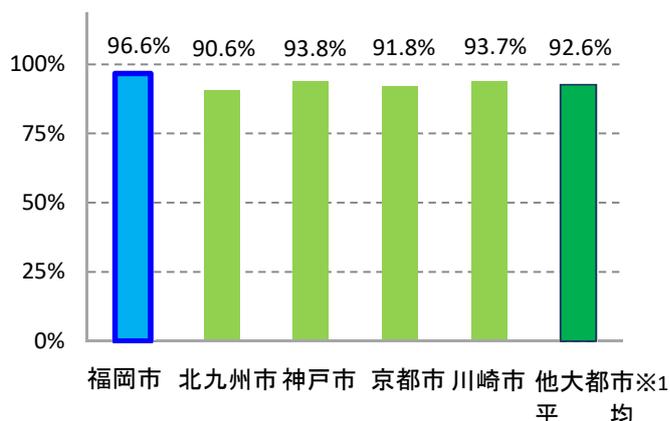
給水量のうち料金徴収の対象となる水量の割合を示す指標です。

$$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総給水量}} \times 100$$

有収率の推移



令和3年度 大都市の有収率



(評価)

- ・当指標は、値が高いほど、料金徴収の対象とならない漏水等が少なく、効率的な水運用が行われていることを示しています。
- ・他大都市平均と比較すると高くなっており、福岡市は、計画的な配水管の整備、漏水防止調査や配水調整システムによる効率的な水運用等により、世界トップの低い漏水率を誇っています。